

2016年卒学生 就職活動状況 中間まとめ

ー 就職プロセス調査 2015年3月～9月より ー

就職みらい研究所では、2016年卒の就職を意向する学生を対象に「就職プロセス調査」を実施しております。本資料では、3月（3月1日時点）～9月（9月1日時点）の調査結果の一部を抜粋し中間まとめとしてご報告いたします。

コンテンツ

調査概要	・・・ P2
調査結果 サマリー	・・・ P3

I 章 3月1日時点から9月1日時点の就職内定に関する状況

【1】 就職内定状況・就職活動実施率	・・・ P4
【2】 内定未取得者と内定取得者の就職活動実施率	・・・ P5
【3】 内定取得社数	・・・ P8
【4】 内定を辞退したことのある学生の割合	・・・ P9
【5】 内定先企業への入社意向	・・・ P10
【6】 9月1日時点での就職確定先業種、従業員規模	・・・ P11
（参考）8月の間の内定（内々定）状況、内定先企業の業種、従業員規模、入社意向	
【7】 「内定取得かつ就職活動実施者」の特徴	・・・ P13

II 章 2月から8月の就職活動や志望の状況

【1】 就職活動プロセス毎の実施状況	・・・ P14
【2】 「学業」「就職活動」「プライベート」に費やす時間の割合	・・・ P16
【3】 就職志望状況＜志望業種＞	・・・ P18
【4】 就職志望状況＜志望企業規模＞	・・・ P20

III 章 2月から8月の学生の心情

【1】 「就職活動」に対する気持ちの高まり度	・・・ P22
＜学生コメント抜粋＞	
【2】 「就職活動」に対する心情の天気模様（次月の見通し）	・・・ P24
＜学生コメント抜粋＞	
【3】 学生コメント内でよく見られたキーワード	・・・ P26

調査概要

- 調査目的** : 大学生・大学院生における就職活動の実態を把握する
- 調査方法** : インターネット調査
- 集計方法** : 大学生については、性別、専攻、所属大学の設置主体をもとに、実際の母集団の構成比に近づけるよう、文部科学省「学校基本調査」の数値を参照し、**ウェイトバック集計**を行っている
- 調査対象** : リクナビ2016会員の大学生および大学院生から、2015年1月14日～3月20日、2015年5月16日～5月30日に調査モニターを募集し、モニターに登録した2016年3月卒業予定の男女6,965人（うち、大学生5,823人/大学院生1,142人）
- ※本資料は、大学生のみのデータ（P7の就職内定率のみ「大学院生・理系」を参考値として掲載）
- 調査期間** : 下表参照
【2016年卒】

調査時期		調査期間	集計対象	
			大学生	大学院生
2015年	3月	2015年 3月 13日 ～ 23日	1,650人	477人
	4月	2015年 4月 3日 ～ 10日	1,448人	444人
	5月	2015年 5月 1日 ～ 11日	1,075人	383人
	6月	2015年 6月 2日 ～ 8日	1,268人	438人
	7月	2015年 7月 2日 ～ 8日	1,181人	442人
	8月	2015年 8月 3日 ～ 10日	1,205人	441人
	9月	2015年 9月 2日 ～ 8日	1,173人	461人

【2015年卒】

調査時期		調査期間	集計対象	
			大学生	大学院生
2014年	3月	2014年 3月 2日 ～ 10日	2,521人	776人
	4月	2014年 4月 2日 ～ 9日	2,101人	691人
	5月	2014年 5月 2日 ～ 12日	1,884人	659人
	6月	2014年 6月 2日 ～ 10日	1,612人	617人
	7月	2014年 7月 2日 ～ 10日	1,500人	585人
	8月	2014年 8月 2日 ～ 11日	1,423人	570人
	9月	2014年 9月 10日 ～ 19日	1,196人	522人
	10月	2014年 10月 2日 ～ 10日	1,338人	533人
	12月	2014年 12月 2日 ～ 9日	1,274人	543人
2015年	2月	2015年 2月 2日 ～ 10日	1,265人	529人
	*3月	2015年 3月 16日 ～ 25日	1,272人	515人

*3月卒業時点

《用語の定義》 【時点:「当該月1日時点」】

- 就職志望者 = 当月、就職を志望している者
- 就職活動実施者 = 当月、就職活動を実施している者
- 就職内定取得者 = 当月までに内定(内々定)の取得経験のある者
- 就職内定未取得者 = 当月までに内定(内々定)の取得経験がない者
- 就職内定辞退者 = 当月までに内定(内々定)の辞退経験がある者
- 進路確定者 = 当月、進路が確定している者

《各率の算出方法》 【時点:「当該月1日時点」】

- 就職志望率 = 就職志望者数 ÷ 就職意向者数
- 就職活動実施率 = 就職活動実施者数 ÷ 就職志望者数
- 就職内定率 = 就職内定取得者数 ÷ 就職志望者数
- 就職内定辞退率 = 就職内定辞退者数 ÷ 就職内定取得者数

《調査結果を見る際の注意点》

- %を表示する際に小数点第2位で四捨五入しているため、%の合計値や差の数値と計算値が一致しない場合がある。

《その他》

- 2015年卒業予定や2016年卒業予定を「2015年卒」「2016年卒」と表記。
- グラフおよび表組の「各月1日」は「各月1日時点」の時点を省略。

調査結果 サマリー

I 章 3月1日時点から9月1日時点の就職内定に関する状況

- 就職内定率は4月1日時点から9月1日時点の間、毎月12～16ポイント程度上昇し、9月1日時点では78.1%（2015年卒同時期 -5.3ポイント）となった。（P4）
- 2016年卒学生の就職活動実施率は6月1日時点まで9割以上であった。その後8月1日時点まで徐々に低下したが、9月1日時点では30ポイント以上低下し37.5%となった。2016年卒は2015年卒に比べ、8月1日時点で38.1ポイント、9月1日時点で16.6ポイント高い活動実施率となっている。（P4）
- 2016年卒学生の内定取得の平均社数は、4月1日時点以降徐々に増加し9月1日時点で2.22社。複数社の内定を取得している学生の割合は8月1日時点で5割を超え、9月1日時点では59.3%であった。（P8）
- 8月1日時点の「内定取得かつ就職活動実施者」の志望業種/企業規模を見ると、全体に比べて「金融業」や「5000人以上の規模」が多い傾向があった。（P13）

II 章 2月から8月の就職活動や志望の状況

- 学生が「学業」「就職活動」「プライベート」に費やす時間の割合において、「就職活動」が最も多かったのは3月であった。（P16）
- 志望業種（5分類・複数回答）を見ると、「情報・サービス業」が最も多く、次いで「製造業」であった。3月から8月の間、各業種を志望する学生の割合は減少したが、「金融業」は横ばいであった。（P18）
- 志望企業規模（複数回答）を見ると、「1000人未満」と回答する学生の割合は、3月1日時点から6月1日時点にかけて徐々に高まったのち、8月1日時点までは低下に転じた。その後、9月1日時点では再度高まっている。「1000人以上」と回答する学生の割合は、3月1日から徐々に増え、8月1日時点では41.3%。9月1日時点は下降に転じ25.2%であった。（P20）

III 章 2月から8月の学生の心情

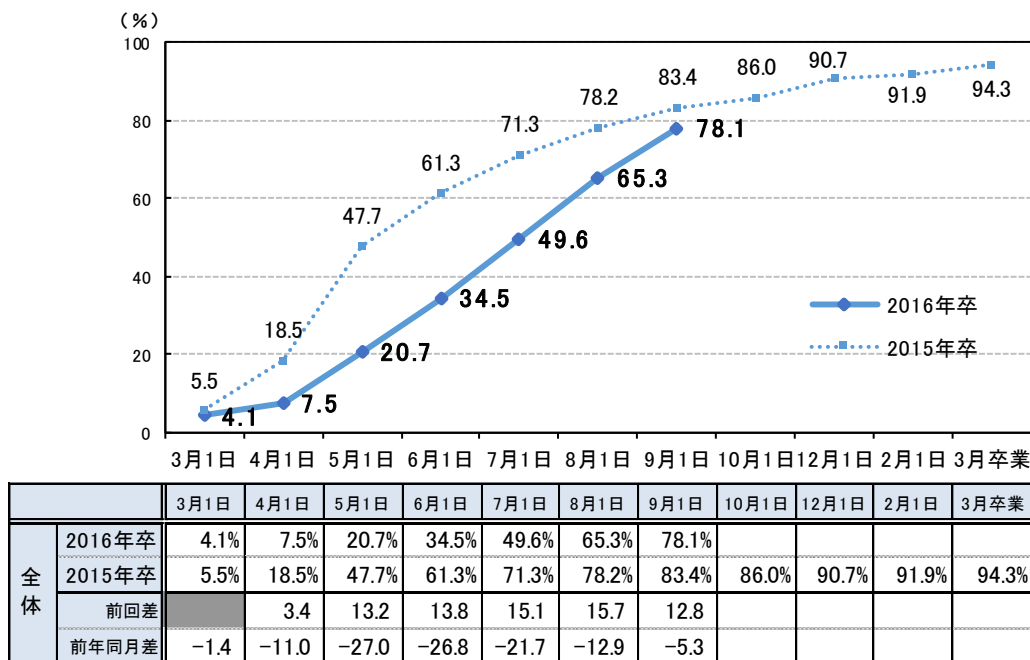
- 就職活動への気持ちの高まりを「0～10」の11段階で尋ねたところ、その平均値が最も高かったのは3月であった。（P22）
- 「就職活動」に対する心情の天気模様（次月の見通し）を見ると、「快晴」と回答した学生の割合は3月の5.8%から毎月増加し、9月には27.9%に至っている。（P24）
- 「就職活動」や「卒業後の進路」に関するフリーコメントから頻出キーワードを抽出すると、「就職活動」が1位（2015年卒では3位）、「不安」が2位（2015年卒では1位）であった。（P26）

I 章 3月1日時点から9月1日時点の就職内定に関する状況

【1】就職内定状況・就職活動実施率

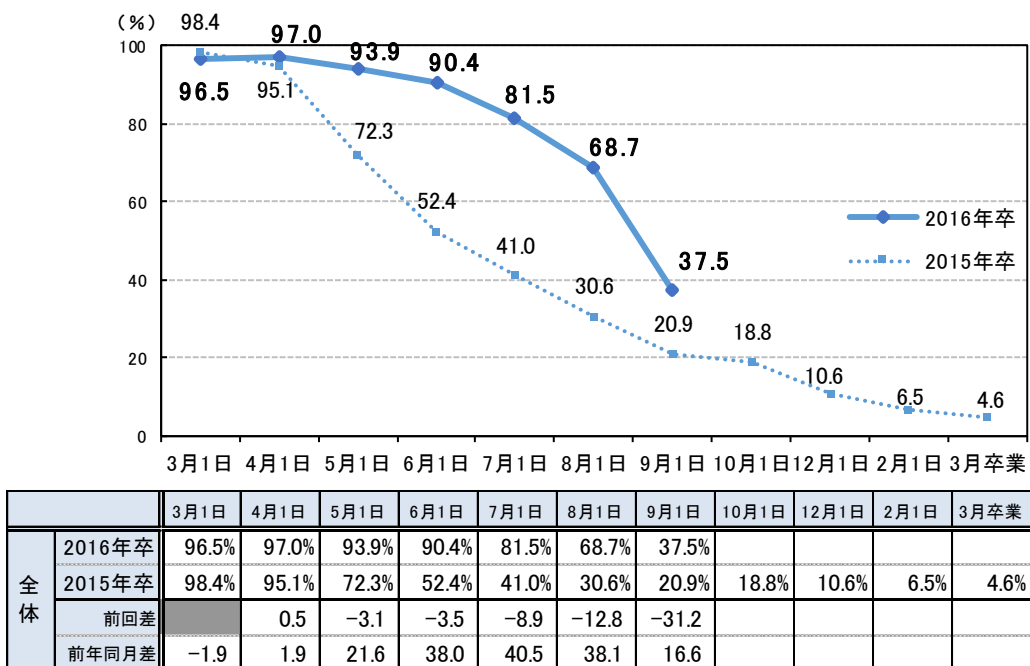
- 就職内定率は4月1日時点から9月1日時点の間、毎月12～16ポイント程度上昇し、9月1日時点では78.1%（2015年卒同時期 -5.3ポイント）となった。
- 2015年卒は4月1日時点から5月1日時点の間に大きく(30ポイント弱)上昇。その後も上昇を続け、9月1日時点には83.4%であった。

■就職志望者における就職内定率の推移（就職志望者／単一回答）



- 2016年卒学生の就職活動実施率は6月1日時点まで9割以上を維持、その後8月1日時点まで徐々に低下し、9月1日時点で37.5%（前月比-31.2ポイント）となった。
- 2015年卒は、4月1日時点から2か月間は毎月20ポイント程度低下、その後の2か月間も10ポイント以上低下し9月1日時点では20.9%であった。2016年卒は2015年卒に比べ、8月1日時点で38.1ポイント、9月1日時点で16.6ポイント高い活動実施率となっている。

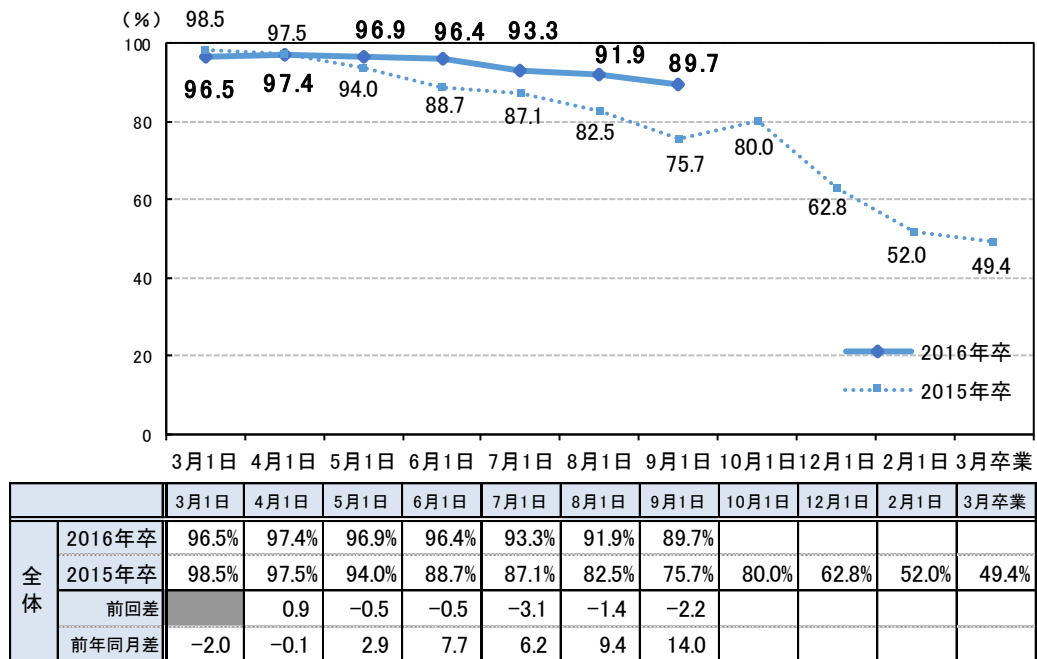
■就職志望者における就職活動実施率の推移（就職志望者／単一回答）



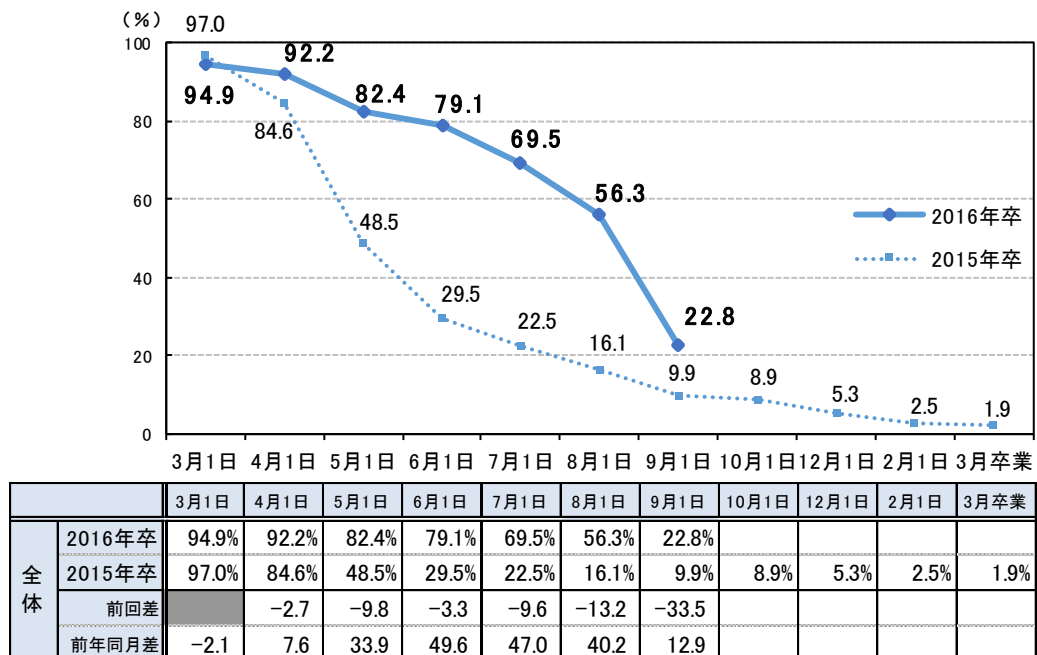
【2】内定未取得者と内定取得者の就職活動実施率

- 2016年卒学生の「内定未取得者」の就職活動実施率は、8月1日時点までは9割以上、9月1日時点でも9割弱であった。9月1日時点まで、2015年卒より高い活動率で推移している。（上段グラフ参照）
- 「内定取得者」の就職活動実施率を見ると、2016年卒の活動率の低下は2015年卒に比べると緩やかで、8月1日時点でも56.3%と半数以上の学生が就職活動を実施（2015年卒同時期 +40.2ポイント）。2015年卒に比べ内定取得後も活動を実施している傾向が見られる。9月1日時点では活動率は大きく低下し22.8%となったが、2015年卒と比べると12.9ポイント高い。

■内定未取得者における就職活動実施率の推移（就職志望者・内定未取得者/単一回答）



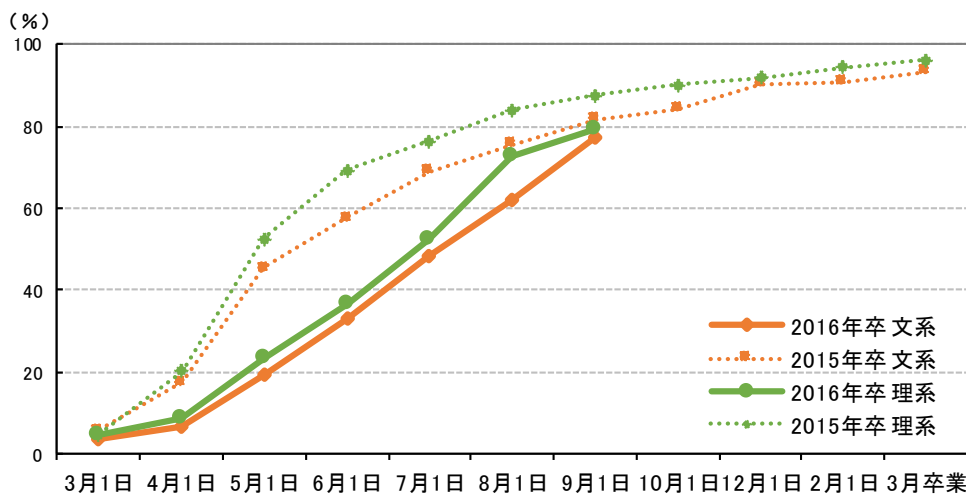
■内定取得者における就職活動実施率の推移（就職志望者・内定取得者/単一回答）



《属性別データ》 ■就職志望者における内定率の推移 属性別（就職志望者/単一回答）

□文系・理系別

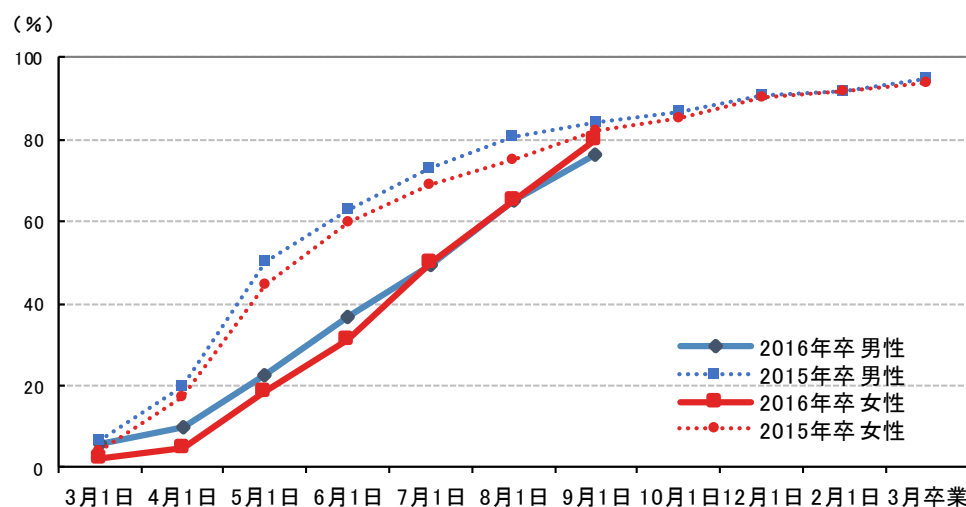
- 2016年卒は、9月1日時点までの間、文系・理系の差が小さく、差が大きかったのは8月1日時点のみであった。



		3月1日	4月1日	5月1日	6月1日	7月1日	8月1日	9月1日	10月1日	12月1日	2月1日	3月卒業
文系	2016年卒	3.9%	6.9%	19.4%	33.3%	48.3%	61.8%	77.4%				
	2015年卒	5.8%	17.6%	45.3%	57.6%	69.0%	75.5%	81.6%	84.2%	90.3%	90.9%	93.4%
理系	2016年卒	4.5%	8.9%	23.7%	36.8%	52.4%	72.7%	79.5%				
	2015年卒	4.9%	20.4%	52.6%	69.2%	76.4%	84.1%	87.5%	90.1%	91.8%	94.3%	96.2%

□男性・女性別

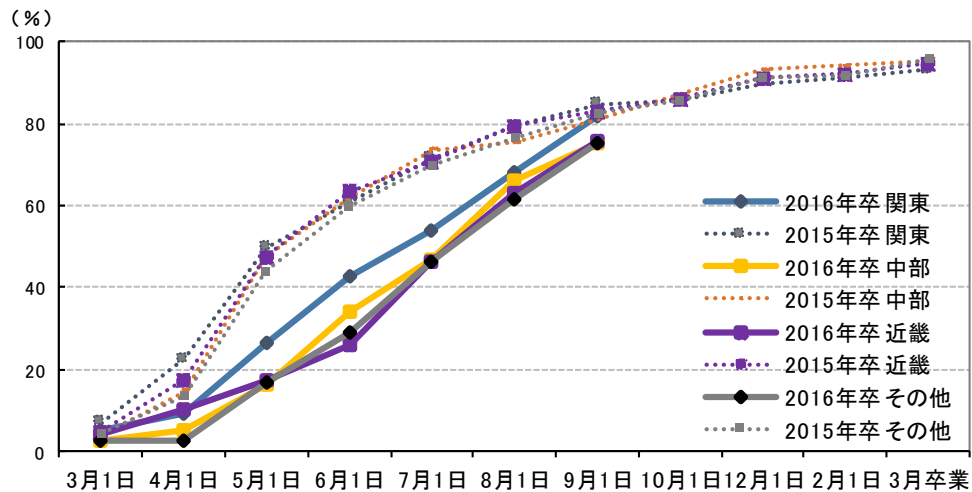
- 2016年卒は、6月1日時点まで男性の内定率が高かったが、7月1日時点～8月1日時点では同水準、9月1日時点では女性の方3.7ポイント高かった。



		3月1日	4月1日	5月1日	6月1日	7月1日	8月1日	9月1日	10月1日	12月1日	2月1日	3月卒業
男性	2016年卒	5.6%	9.7%	22.6%	36.9%	49.5%	65.3%	76.4%				
	2015年卒	6.6%	19.5%	50.1%	62.7%	73.1%	80.6%	84.3%	86.7%	91.0%	92.0%	94.6%
女性	2016年卒	2.3%	4.8%	18.4%	31.4%	49.7%	65.3%	80.1%				
	2015年卒	4.1%	17.2%	44.6%	59.6%	69.1%	75.3%	82.4%	85.2%	90.4%	91.8%	93.9%

□地域別

● 2016年卒は、関東の内定率がそれ以外の地域より、高めに推移している。



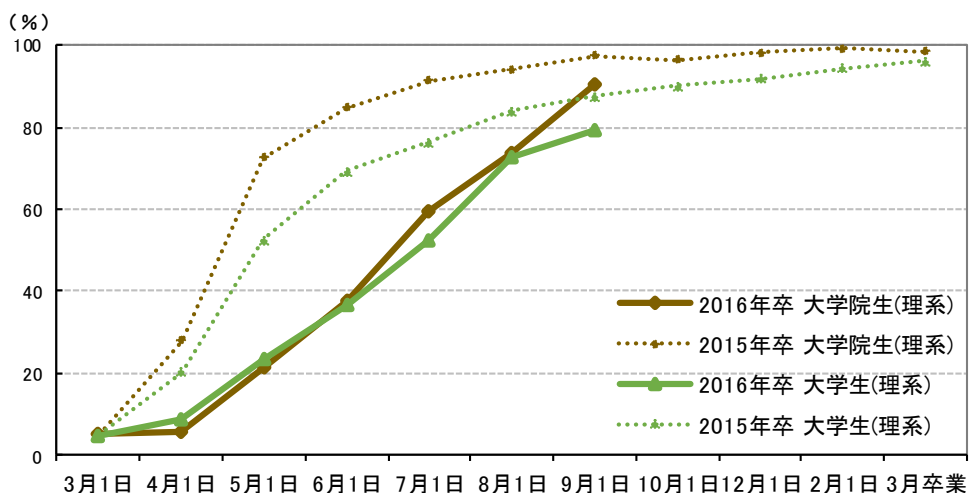
		3月1日	4月1日	5月1日	6月1日	7月1日	8月1日	9月1日	10月1日	12月1日	2月1日	3月卒業
関東	2016年卒	5.4%	9.2%	26.5%	42.7%	54.1%	68.3%	82.0%				
	2015年卒	7.0%	22.7%	49.7%	60.8%	71.6%	79.4%	84.8%	85.8%	89.7%	91.2%	93.0%
中部	2016年卒	2.8%	5.0%	16.4%	34.0%	46.7%	66.3%	75.0%				
	2015年卒	3.7%	14.8%	47.6%	61.8%	73.6%	75.4%	81.3%	86.9%	93.1%	94.2%	95.5%
近畿	2016年卒	4.0%	10.1%	17.2%	26.0%	46.5%	63.2%	75.6%				
	2015年卒	4.7%	17.4%	47.4%	63.4%	70.7%	79.3%	82.9%	86.0%	91.1%	92.2%	94.7%
その他	2016年卒	2.5%	2.9%	16.7%	29.0%	46.3%	61.4%	75.4%				
	2015年卒	4.5%	13.4%	44.1%	59.7%	70.1%	76.5%	82.7%	85.8%	91.0%	91.6%	95.6%

※「その他」は「その他地域」

[参考値]

□大学院生・理系

● 2016年卒の大学院生・理系の内定率は、3月1日時点から8月1日時点まで大学生・理系と近い水準で推移してきたが、9月1日時点では、大学生・理系より11.1ポイント高くなっている。



		3月1日	4月1日	5月1日	6月1日	7月1日	8月1日	9月1日	10月1日	12月1日	2月1日	3月卒業
院大 生学	2016年卒	5.0%	5.5%	21.2%	37.9%	59.3%	73.5%	90.6%				
	2015年卒	4.8%	28.0%	72.6%	84.8%	91.4%	94.2%	97.4%	96.3%	98.2%	99.2%	98.5%
大再 学掲 生)	2016年卒	4.5%	8.9%	23.7%	36.8%	52.4%	72.7%	79.5%				
	2015年卒	4.9%	20.4%	52.6%	69.2%	76.4%	84.1%	87.5%	90.1%	91.8%	94.3%	96.2%

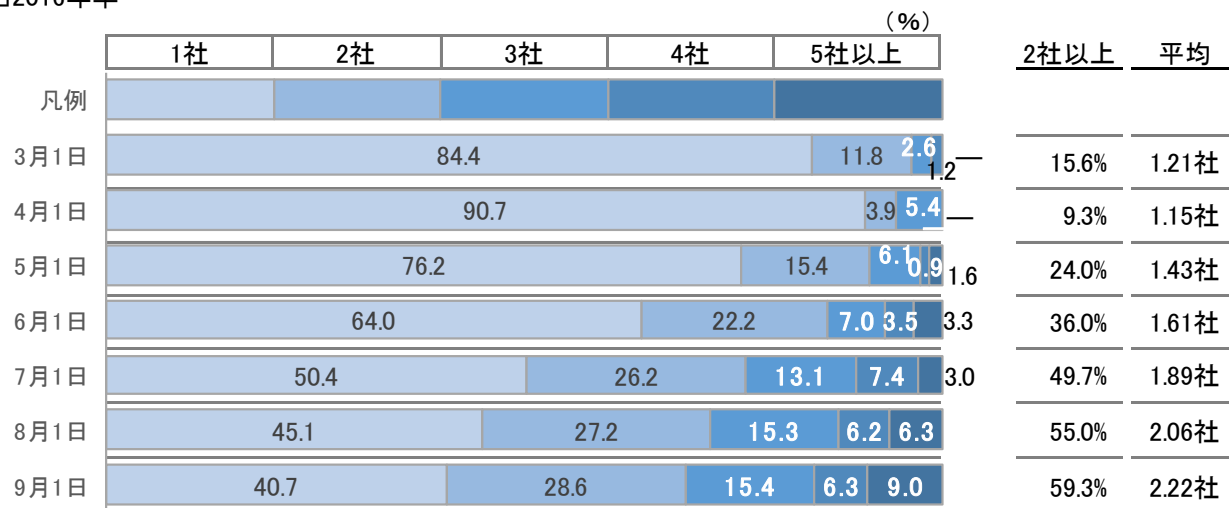
※「再掲」大学生は「大学生・理系」

【3】内定取得社数

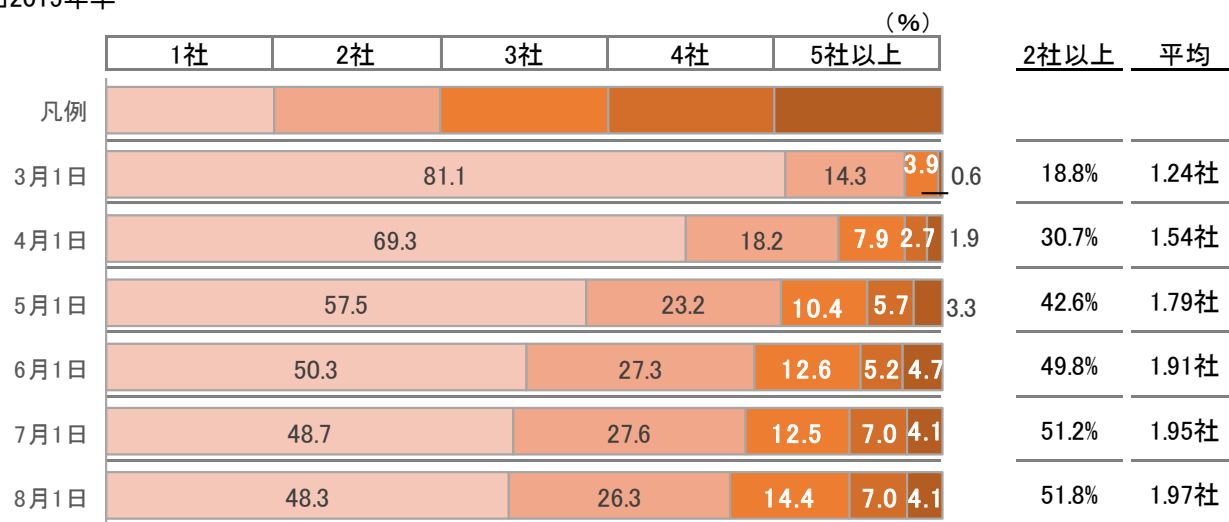
- 2016年卒学生の内定取得社数の平均値は、4月1日時点以降徐々に増加し9月1日時点で2.22社。
複数社の内定を取得している学生の割合は8月1日時点で5割を超え、9月1日時点では59.3%であった。
- 2015年卒は、3月1日時点から6月1日時点にかけて内定取得社数が増加し、その後2社弱で推移した。
複数社の内定を取得している学生の割合は、6月1日時点以降5割前後で推移した。

■内定取得社数の推移_内訳(就職志望者・内定取得者／実数回答)

□2016年卒



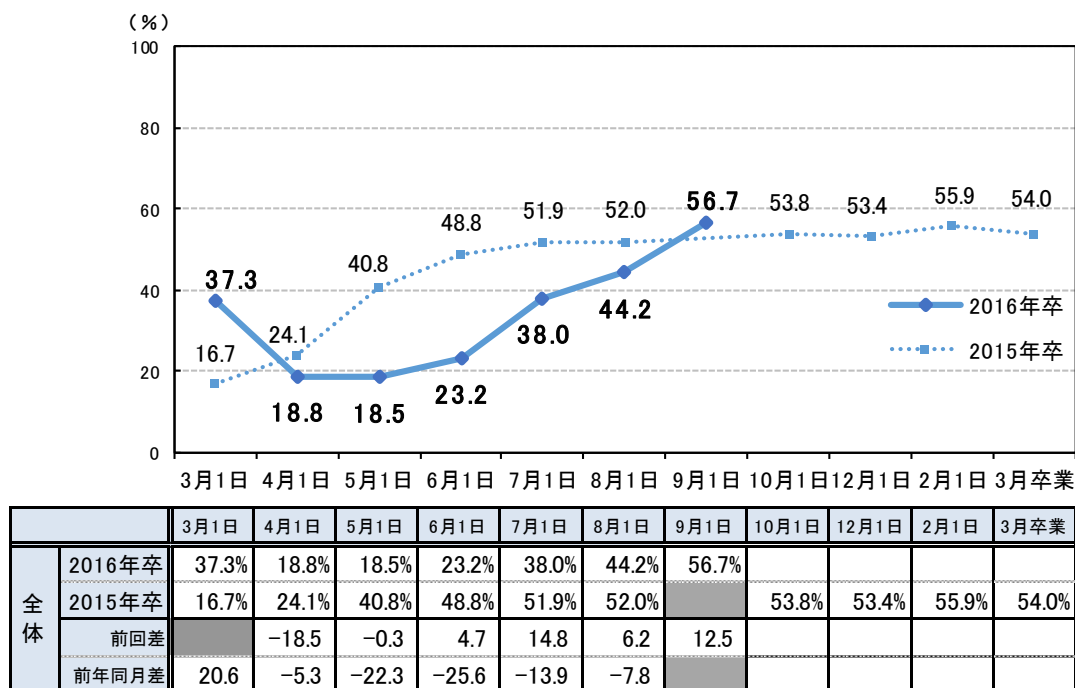
□2015年卒



【4】内定を辞退したことのある学生の割合

- 2016年卒学生の「内定を辞退したことのある学生の割合」は、4月1日時点から6月1日時点までは2割前後で推移。その後上昇し8月1日時点で44.2%、9月1日時点では56.7%となっている。
- 2015年卒学生は、3月1日時点から6月1日時点の間で徐々に増加し、その後5割以上で推移した。

■内定を辞退したことのある学生の割合（就職志望者・内定取得者／単一回答）



■平均内定辞退社数（就職志望者・内定辞退者／実数回答）

	3月1日	4月1日	5月1日	6月1日	7月1日	8月1日	9月1日	10月1日	12月1日	2月1日	3月卒業
全体											
2016年卒	※1.18社	1.50社	1.83社	1.46社	1.54社	1.67社	1.98社				
2015年卒	※1.16社	1.61社	1.73社	1.75社	1.80社	1.83社		1.87社	1.90社	1.87社	1.86社
前回差		0.32	0.33	-0.37	0.08	0.13	0.31				
前年同月差	0.02	-0.11	0.10	-0.29	-0.26	-0.16					

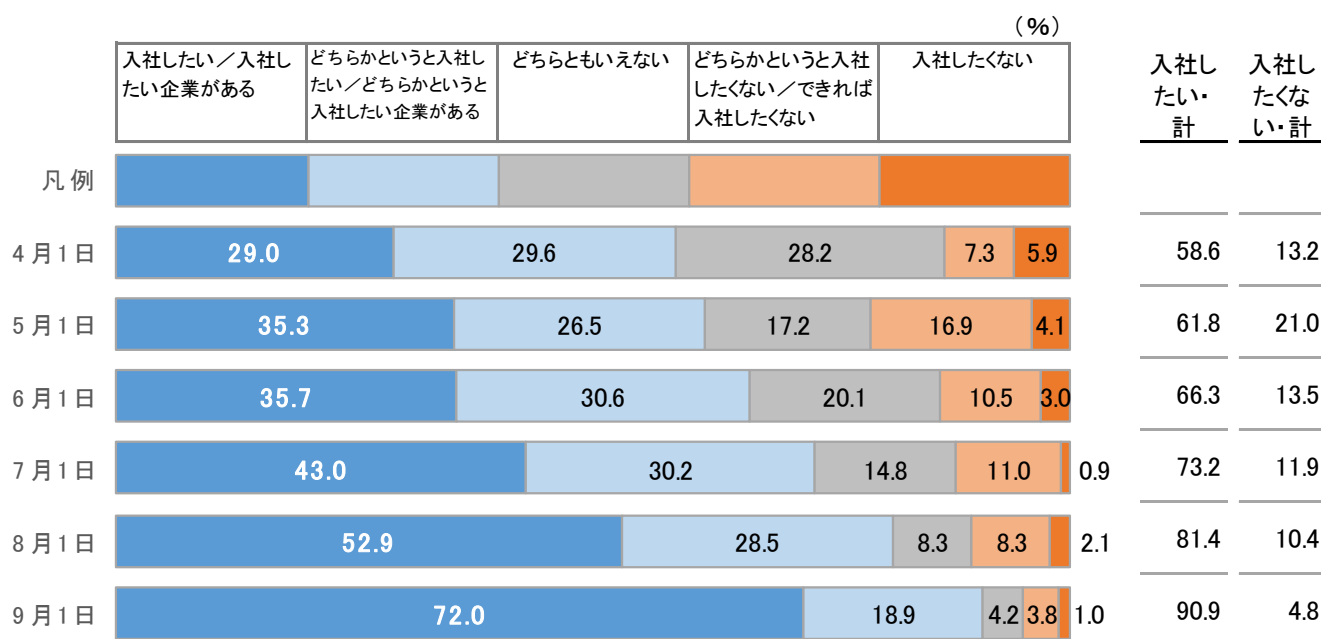
注)※が付いているものは、回答数が少ないため、参考データとして参照

【5】内定先企業への入社意向

- 2016年卒学生の内定先企業への入社意向を尋ねると、「入社したい／入社したい企業がある」と答えた学生は、4月1日時点で29.0%、「どちらかというに入社したい／どちらかというに入社したい企業がある」を加えた「入社したい・計」は58.6%であった。

その後入社意向を示す学生の割合は徐々に高まり、9月1日時点で「入社したい／入社したい企業がある」は72.0%、「入社したい・計」は90.9%であった。

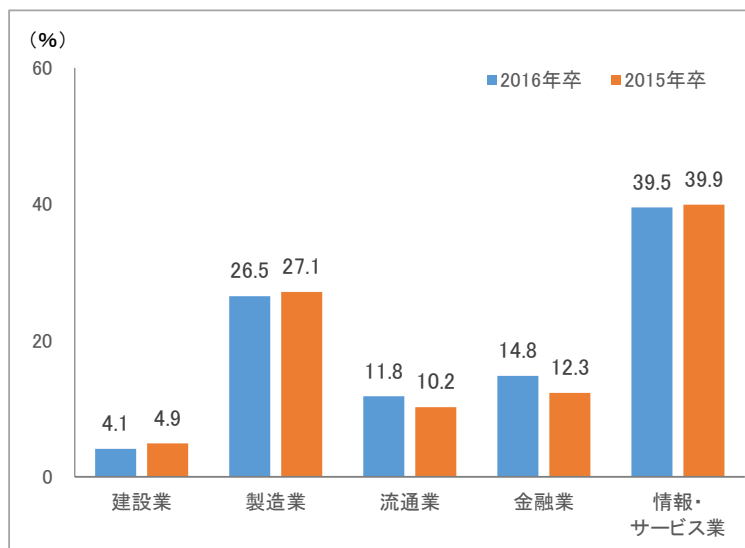
■内定先企業への入社意向（就職志望者、1社以上内定保有者／単一回答）



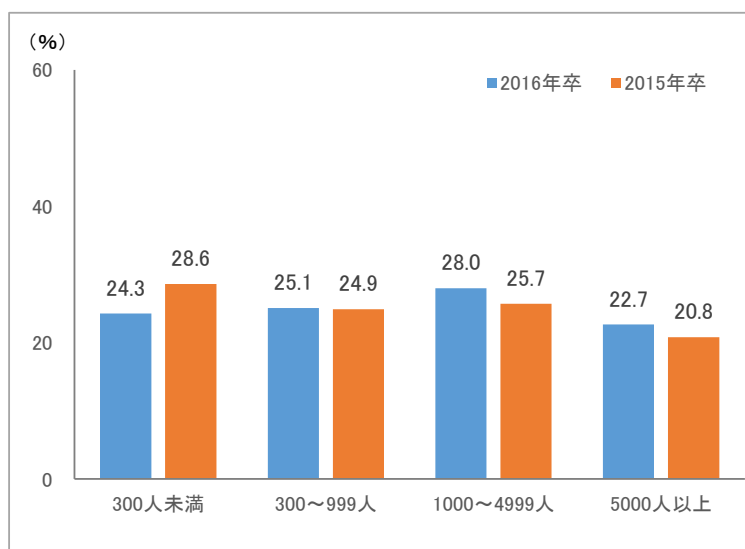
【6】9月1日時点での就職確定先業種、従業員規模

- 9月1日時点での就職確定先業種は、「情報・サービス業」が39.5%と最も多く、次いで「製造業」が26.5%であった。
- 就職確定先従業員規模は、「1000～4999人」が28.0%で最も多く、次いで「300～999人」が25.1%であった。

■9月1日時点での就職確定先業種 （民間企業への就職先確定者／単一回答）



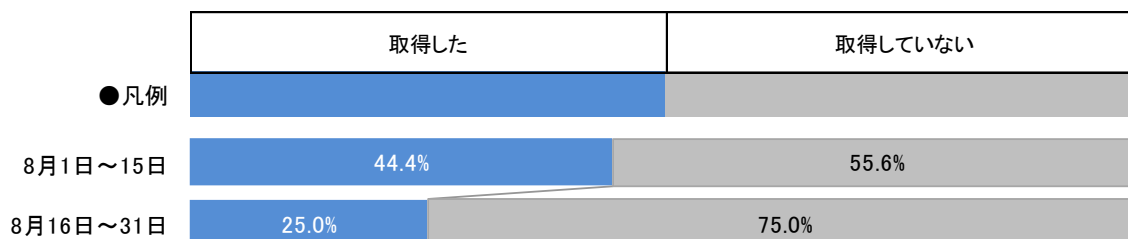
■9月1日時点での就職確定先従業員規模 （民間企業への就職先確定者／単一回答）



(参考) 8月の間の内定(内々定)状況、内定先企業の業種、従業員規模、入社意向

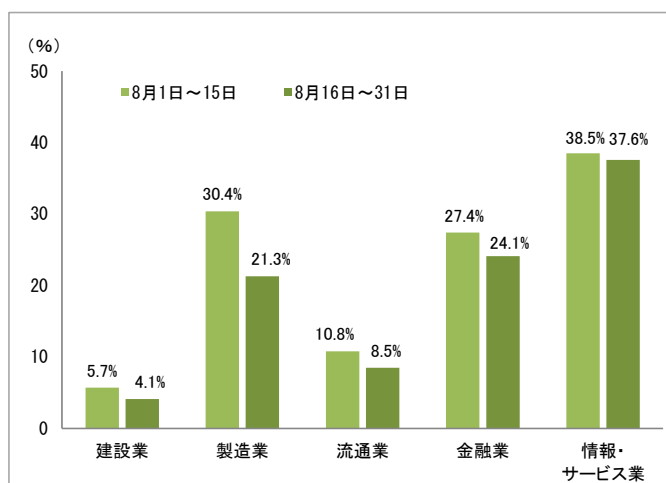
- 9月1日時点の内定取得者のうち、8月1日～15日に内定を取得した人の割合は44.4%、8月16日～31日は25.0%であった。
- 内定先企業の業種は、8月1日～15日の間は「情報・サービス業」が38.5%で最も多く、次いで「製造業」の30.4%であった。8月16日～31日の間は「情報・サービス業」が37.6%で最も多く、次いで「金融業」の24.1%であった。
- 内定先企業の従業員規模は、8月1日～15日の間は「5000人以上」が40.2%で最も多く、次いで「1000～4999人」の34.2%であった。8月16日～8月31日の間は「300～999人」が32.6%で最も多く、次いで「1000～4999人」の32.0%であった。
- 8月中に取得した内定先への入社意向を尋ねると、8月1日～8月15日では64.8%、8月16日～8月31日では59.9%が、それぞれ「入社したい/入社したい企業がある」と回答した。

■9月1日時点の内定取得者のうち、8月1日～15日および8月16日～31日における内定取得有無（就職志望者/単一回答）

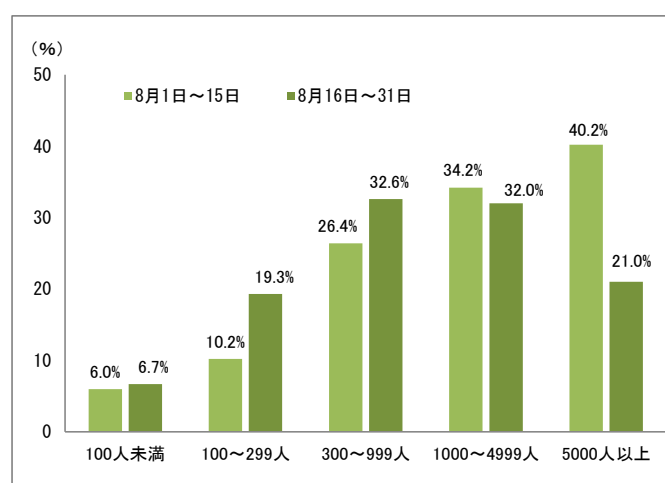


■8月1日～15日および8月16日～31日における内定取得先企業の業種、従業員規模（就職志望者・内定取得者/複数回答）

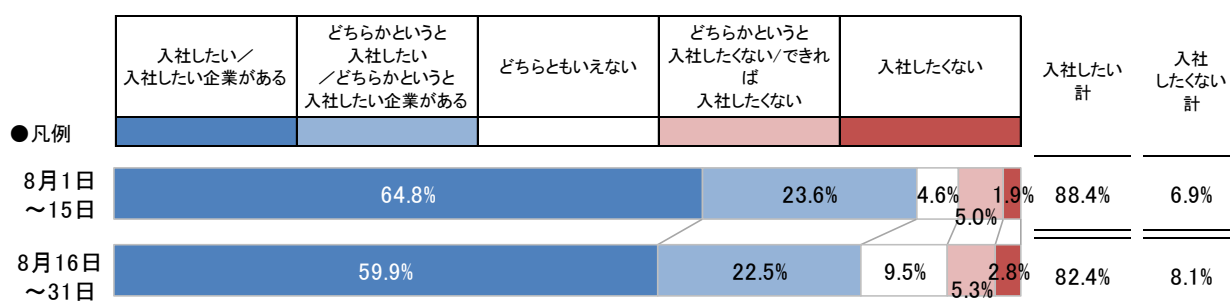
□内定取得先企業の業種



□内定取得先企業の従業員規模



■8月1日～15日および8月16日～31日における内定取得先企業への入社意向（就職志望者・内定取得者/単一回答）

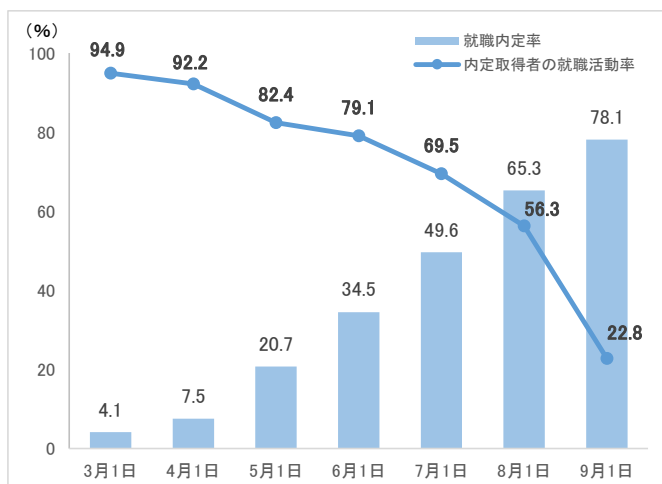


【7】「内定取得かつ就職活動実施者」の特徴

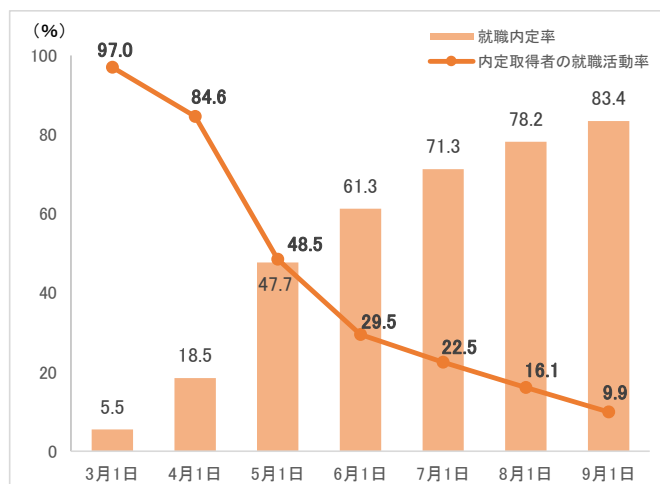
- 内定取得者の就職活動実施率を2015年卒のそれと比較すると、8月1日時点までかなりの高水準で推移し、9月1日時点でも +12.9ポイントとなっている。

■ 内定率(就職志望者)と就職活動実施率の推移(就職志望者・内定取得者)

□2016年卒



□2015年卒



- 8月1日時点の「内定取得かつ就職活動実施者」の特徴を明らかにするため、3月1日時点の就職活動実施者の志望状況(≒学生全体の志望状況)と、8月1日時点の「内定取得かつ就職活動実施者」の志望状況を比較したのが下のグラフである。

《志望業種の特徴》

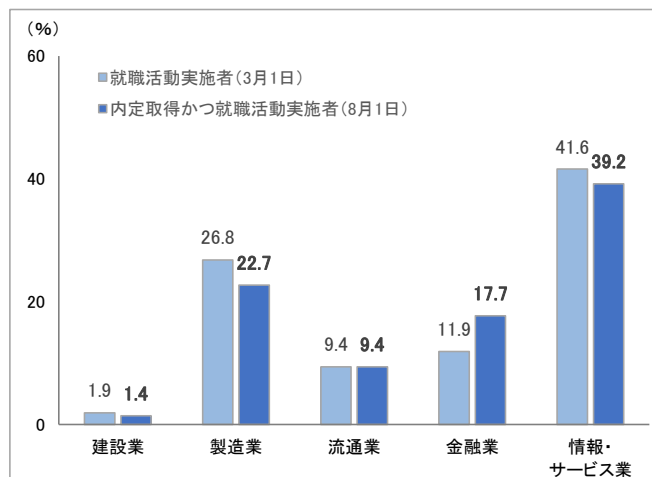
8月1日時点の「内定取得かつ就職活動実施者」の志望業種を、3月1日時点の就職活動実施者(≒学生全体の志望状況)と比較すると、「金融業」の割合が5.8ポイント高い。

《志望する企業規模の特徴》

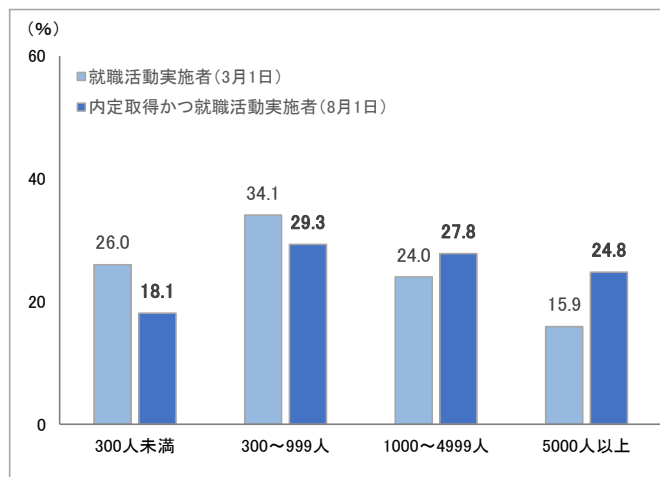
8月1日時点の「内定取得かつ就職活動実施者」の志望する企業規模を、3月1日時点の就職活動実施者(≒学生全体の志望状況)と比較すると、「5000人以上」の割合が8.9ポイント高い。

- 3月1日時点の「就職活動実施者」の志望状況と、8月1日時点の「内定取得かつ就職活動実施者」の志望状況 (単一回答)

□志望業種



□志望する企業規模



II章 2月から8月の就職活動や志望の状況

【1】就職活動プロセス毎の実施状況

- 2016年卒学生の、就職活動プロセス毎に実施した学生の割合を月別に見ていく。

(各活動プロセス毎の推移は次ページ参照)

2月:「大学で開催の合同説明会・セミナー」に参加した学生が、55.6%と最も多かった。

「エントリーシートなどの提出」や「適性検査や筆記試験の受検」も2割を超えていた。

3月:「企業へのエントリー(78.7%)」が最も多くなり、次いで「個別企業の説明会(対面)」(64.4%)や「大学で開催の合同説明会・セミナー」(66.0%)を通じた企業との接触が増加している。

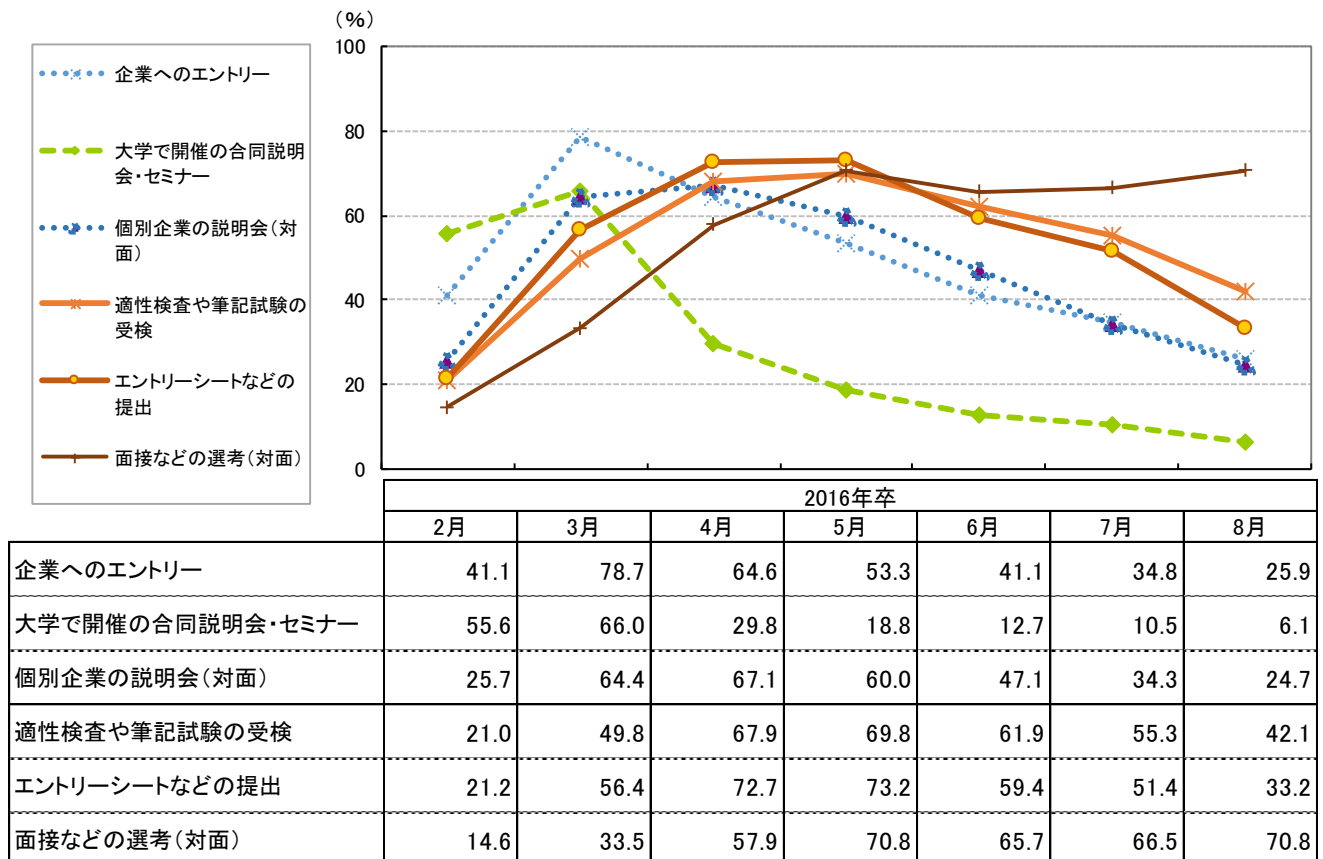
また、「エントリーシートなどの提出」や「適性検査や筆記試験の受検」の実施者も5割程度となった。

4月・5月:「エントリーシートなどの提出」「適性検査や筆記試験の受検」「個別企業の説明会(対面)」を7割近くが実施。

「面接などの選考(対面)」は4月中で57.9%、5月中には7割以上の学生が実施している。

6月～8月:「面接などの選考(対面)」は6割～7割程度で推移、他の活動プロセスの実施者割合は徐々に減っている。

■就職活動プロセス毎の実施状況(就職活動実施者／複数回答)



※ コメントおよびグラフ・表組上では、質問内容を省略している。詳細は下記の通り。

「企業へのエントリー」＝「企業にエントリー(資料・情報の請求)をした」

「大学で開催の合同説明会・セミナー」＝「大学で開催される合同説明会・セミナーに参加した」

「個別企業の説明会(対面)」＝「個別企業の説明会・セミナーのうち、対面(社内、会場など)で開催されるものに参加した」

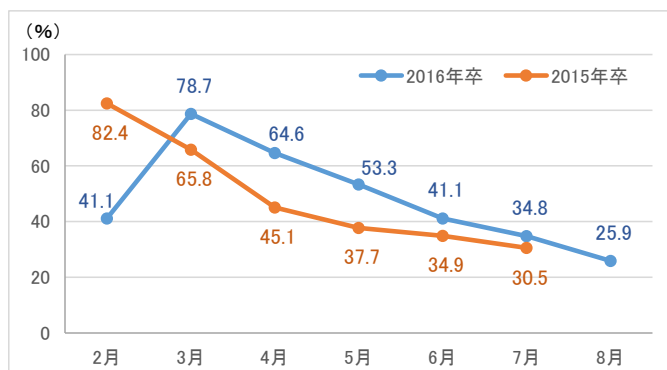
「適性検査や筆記試験の受検」＝「適性検査や筆記試験を受けた」

「エントリーシートなどの提出」＝「エントリーシートなどの書類を提出した」

「面接などの選考(対面)」＝「面接など対面での選考を受けた」

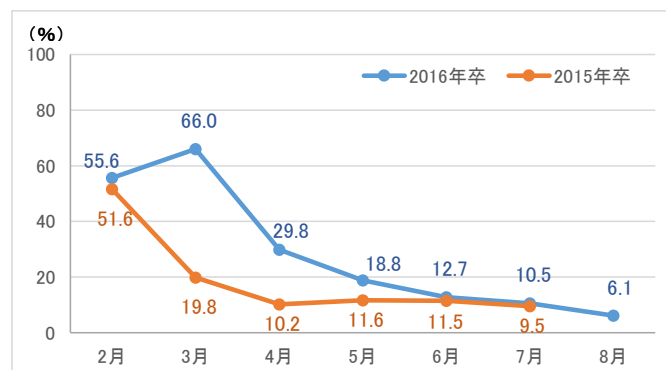
■各活動プロセス毎の実施者割合の推移

《 企業へのエントリー 》



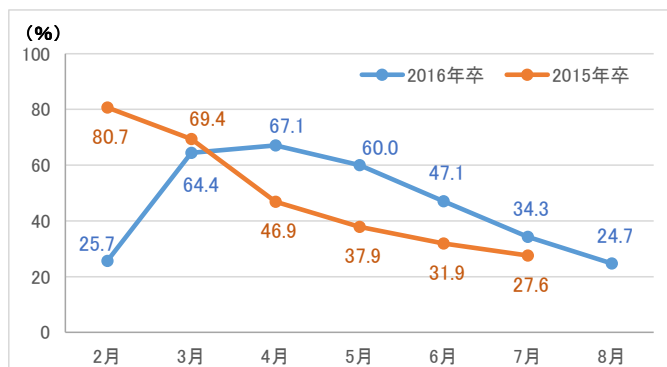
- 「企業にエントリー」をした学生の割合は3月に78.7%で、その後徐々に減少。8月は25.9%であった。

《 大学で開催の合同説明会・セミナー 》



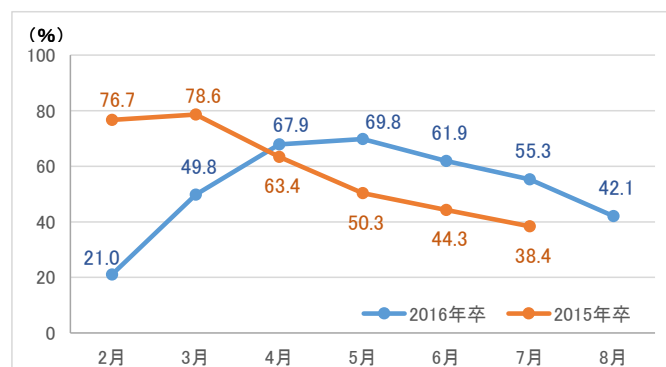
- 「大学で開催の合同説明会・セミナー」へ参加した学生の割合は、2月・3月に5割以上であった。その後減少し、5月以降は2割以下、8月には6.1%となった。

《 個別企業の説明会(対面) 》



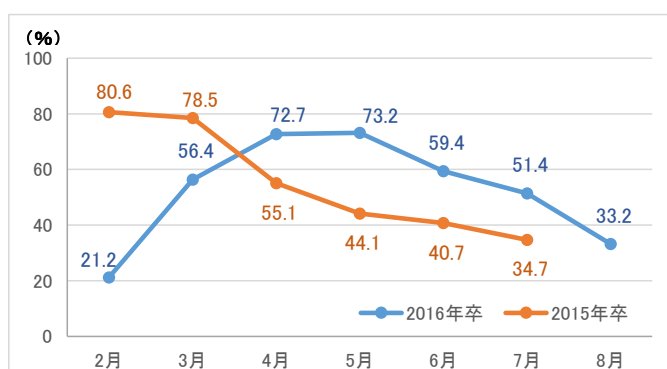
- 「個別企業の説明会(対面)」へ参加した学生は、3月から5月の間6割以上であった。

《 適性検査や筆記試験の受検 》



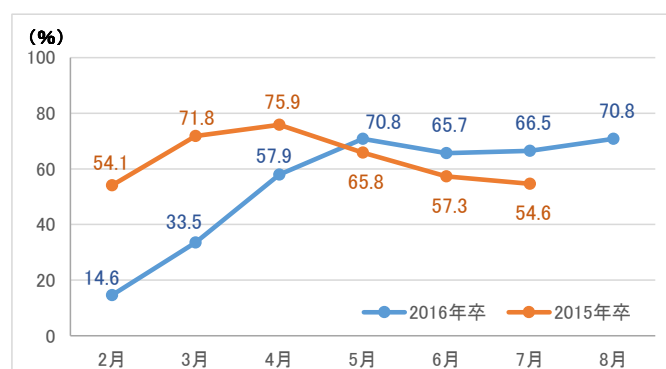
- 「適性検査や筆記試験の受検」は3月で5割弱、その後の4月から6月は6割強であった。

《 エントリーシートなどの提出 》



- 「エントリーシートなどの提出」は3月に5割を超え、4月・5月には7割を超えた。その後も7月まで5割以上で推移している。

《 面接などの選考(対面) 》



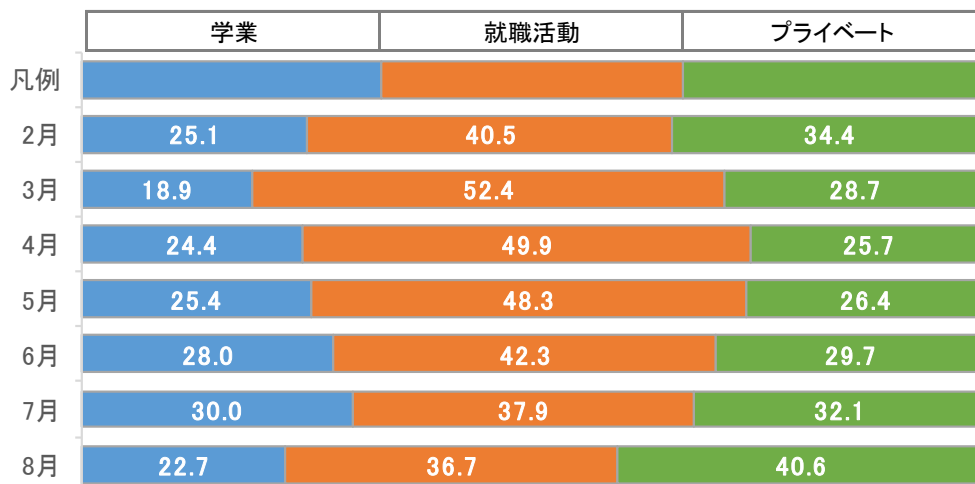
- 「面接などの選考(対面)」は、2月以降徐々に増加し5月で7割を超えた。その後も6割～7割で推移している。

【2】「学業」「就職活動」「プライベート」に費やす時間の割合

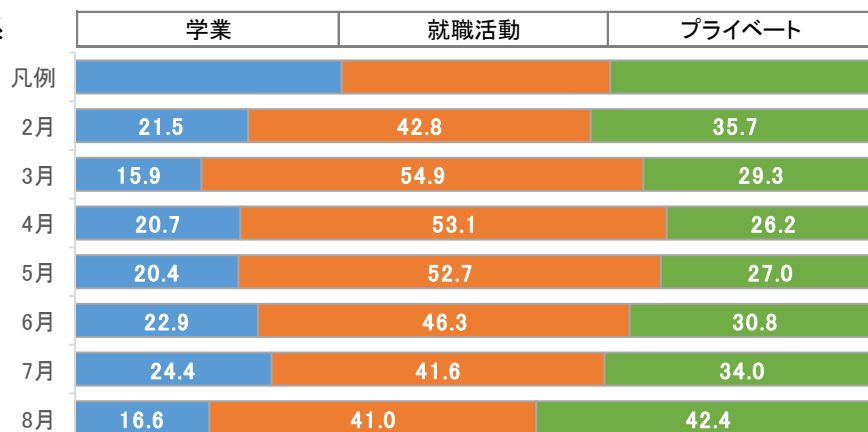
- 就職を志望する2016年卒学生の各月の時間を「100」とした場合の、「学業／就職活動／プライベート」の割合を尋ねた結果、下図のようになった。
- 「就職活動」が占める割合が最も多いのは3月で、52.4であった。その後徐々に「就職活動」が占める割合は減少し、7月以降は4割を下回っている。
- 文・理系での差を見ると、理系学生は「学業」が占める割合が大きかった。

■「学業」「就職活動」「プライベート」に費やす時間の割合の推移(就職志望者／実数回答)

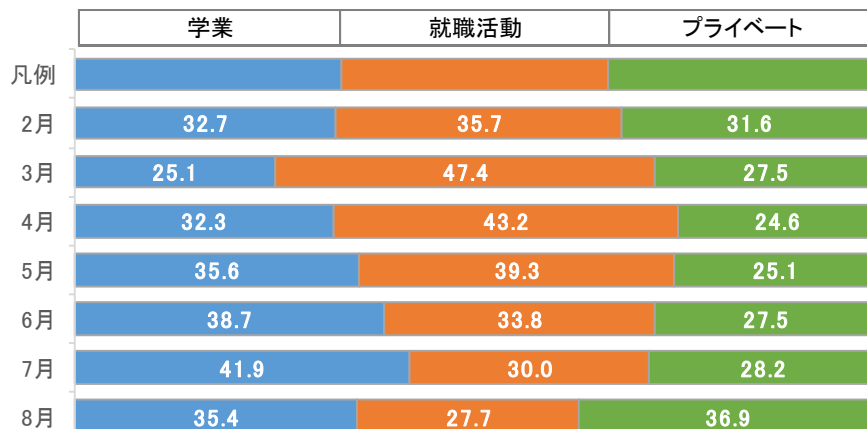
□全体



□文系



□理系



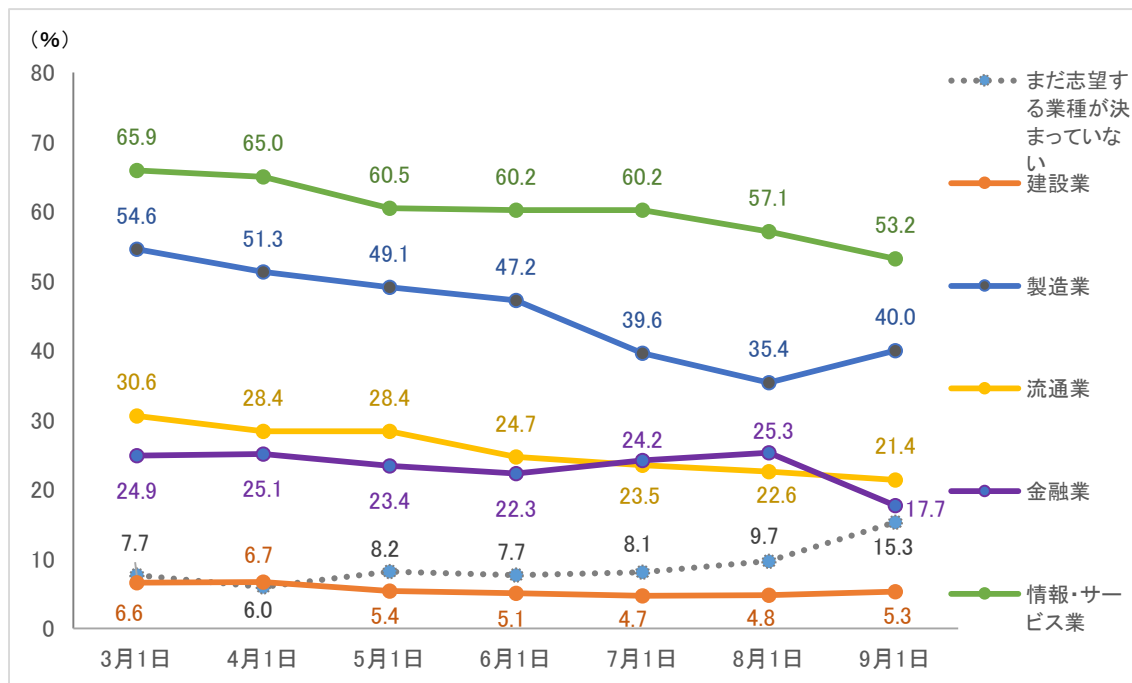
見開きの調整のためのページです。
落丁ではありません。

【3】就職志望状況＜志望業種＞

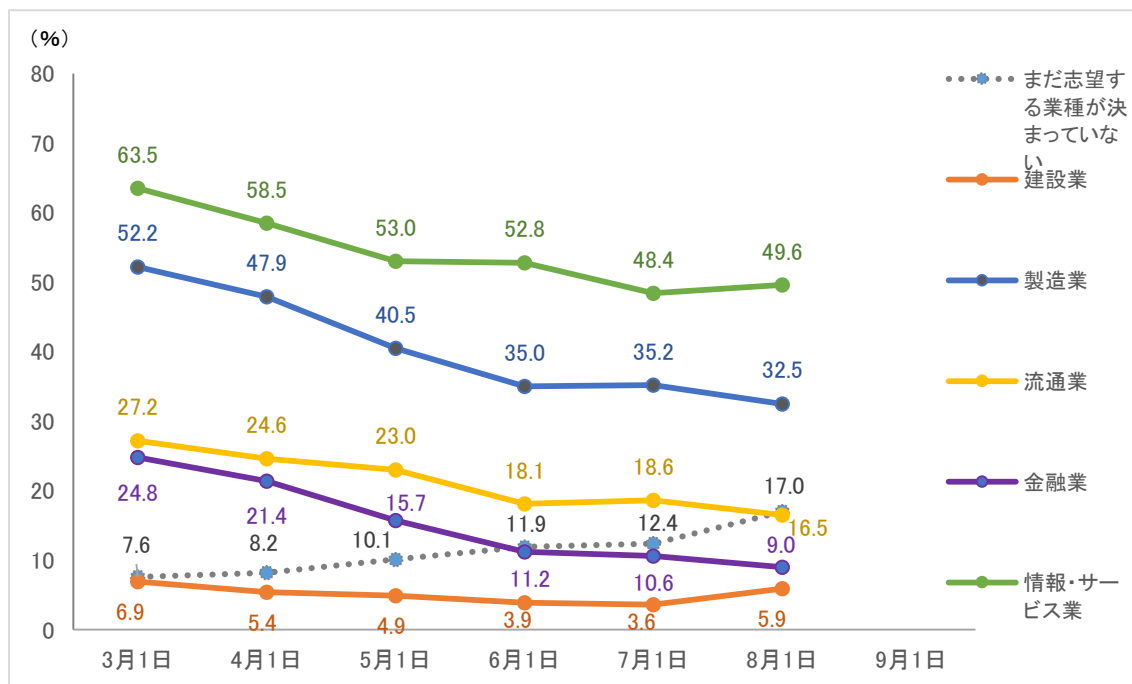
- 2016年卒学生の志望業種(5分類・複数回答)を見ると、「情報・サービス業」が最も多く、次いで「製造業」であった。8月1日時点までの変化を見ると、各業種を志望する学生の割合は減少したが、「金融業」は横ばいであった。9月1日時点の変化を見ると、「金融業」が下がり、「製造業」「まだ志望する業種が決まっていない」が上がった。
- 2015年卒学生の状況を見ると、2016年卒学生に比べ3月1日時点から8月1日時点の間に、志望割合の低下傾向がより見られた。

■就職志望先業種（就職活動実施者/複数回答）

□2016年卒



□2015年卒

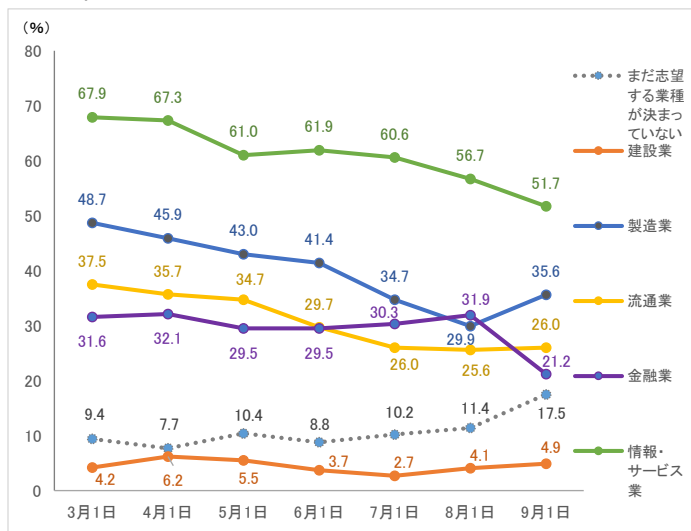


《属性別データ》

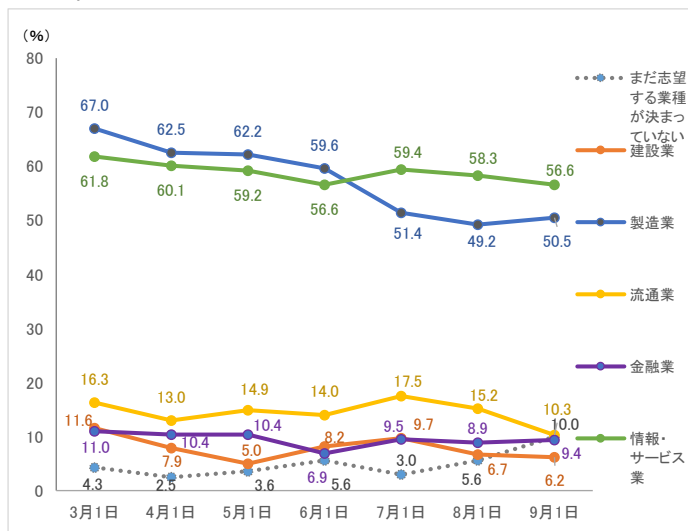
■就職志望先業種（就職活動実施者/複数回答）

□2016年卒

<文系>

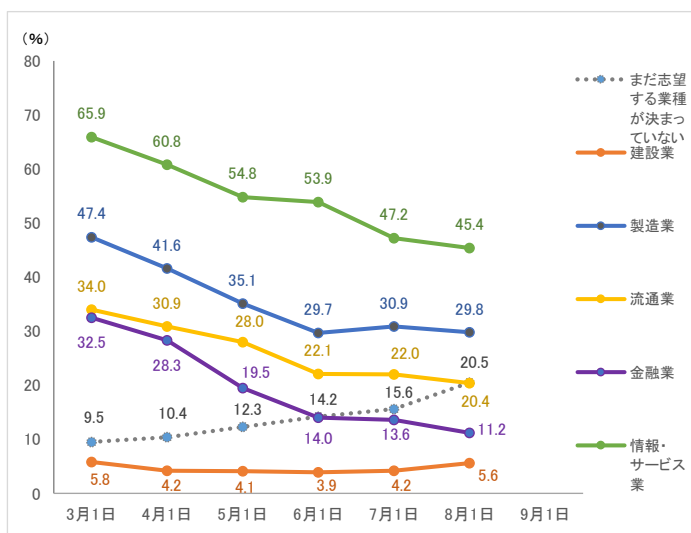


<理系>

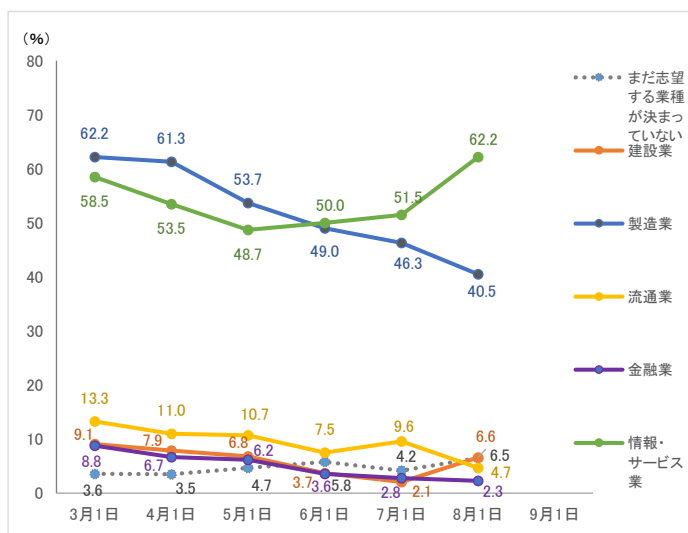


□2015年卒

<文系>



<理系>

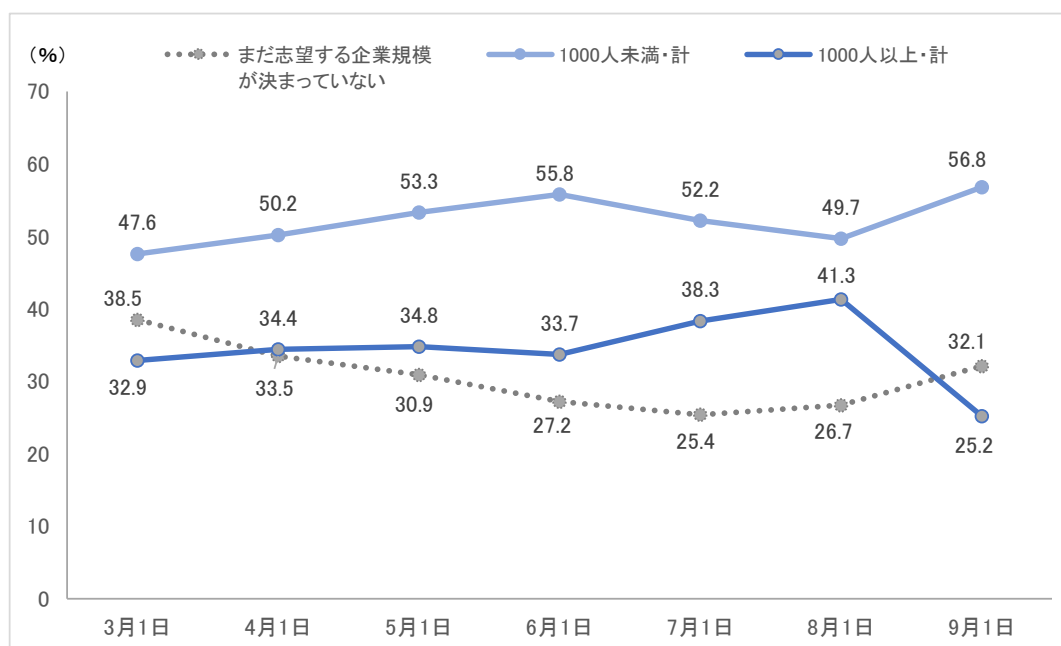


【4】就職志望状況＜志望企業規模＞

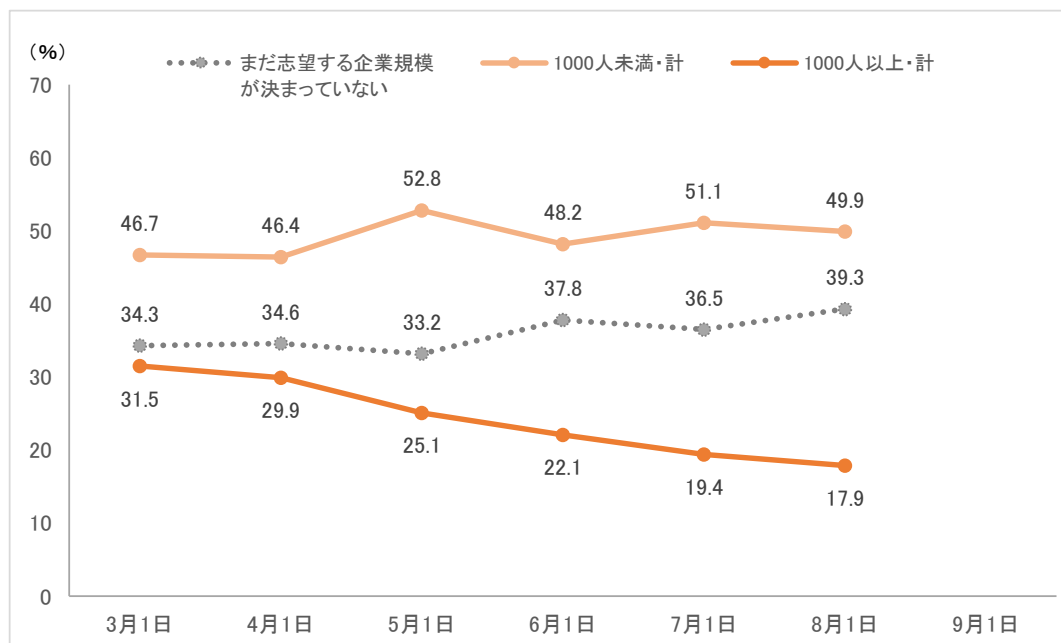
- 2016年卒学生の志望企業規模(複数回答)を見ると、「1000人未満」と回答する学生の割合は、3月1日時点から6月1日時点にかけて徐々に高まったのち、8月1日時点までは低下に転じた。その後、9月1日時点では再度高まっている。「1000人以上」と回答する学生の割合は、3月1日時点から徐々に増え、8月1日時点では41.3%。9月1日時点は下降に転じ25.2%であった。
- 2015年卒学生の「1000人未満」への志望は、5割前後で推移していた。「1000人以上」への志望者は3月1日時点は2016年卒学生と同水準であったが、徐々に減り8月1日時点では17.9%と2016年卒の方が23.4ポイント高かった。

■就職志望先 企業規模 (就職活動実施者/複数回答)

□2016年卒



□2015年卒

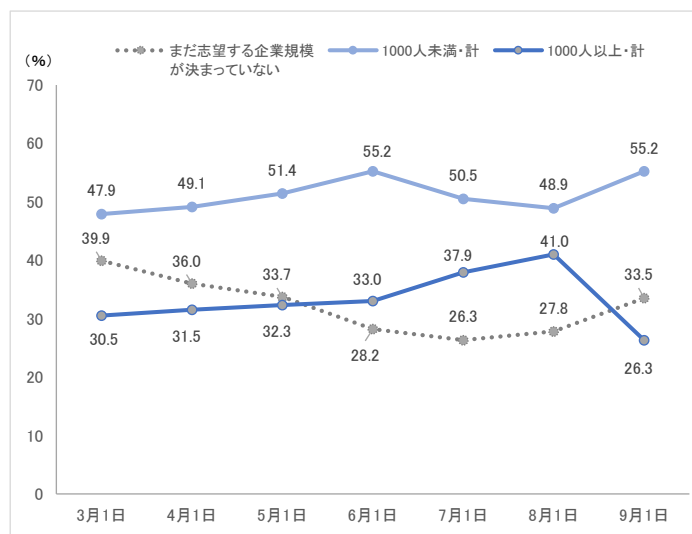


《属性別データ》

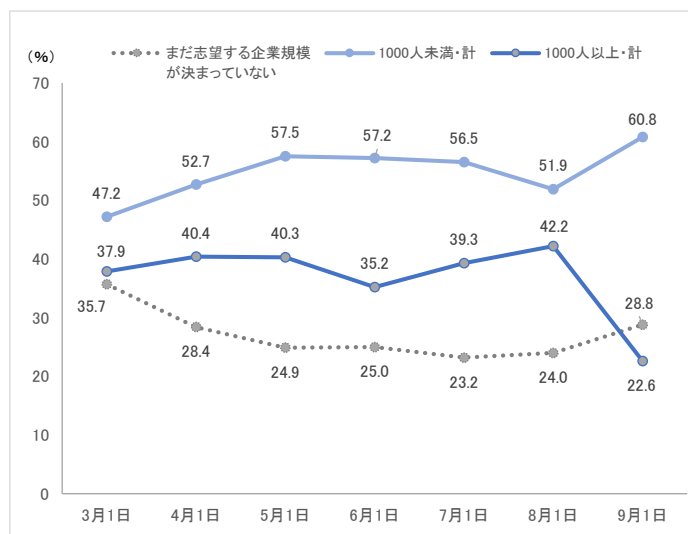
■就職志望先 企業規模（就職活動実施者/複数回答）

□2016年卒

<文系>

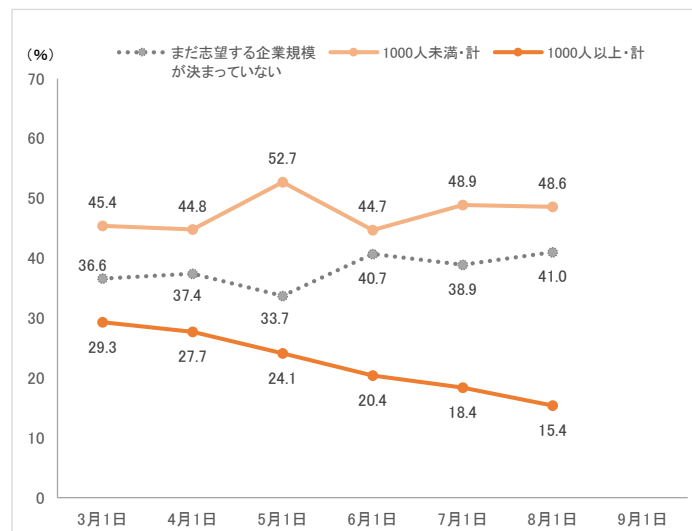


<理系>

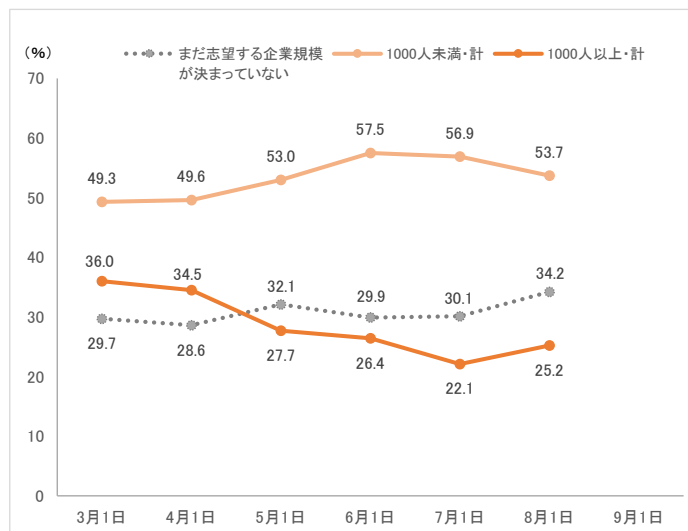


□2015年卒

<文系>



<理系>



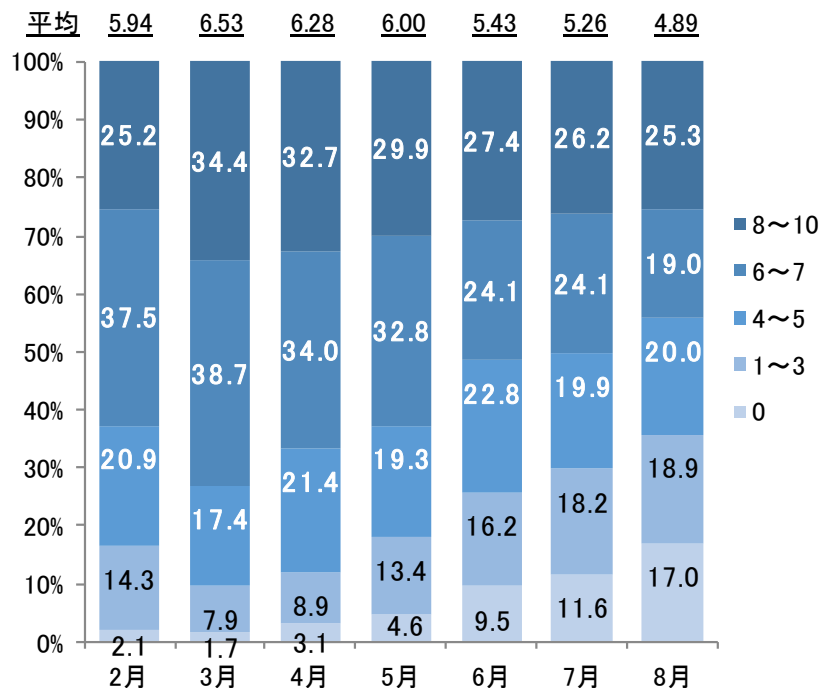
Ⅲ章 2月から8月の学生の心情

【1】「就職活動」に対する気持ちの高まり度

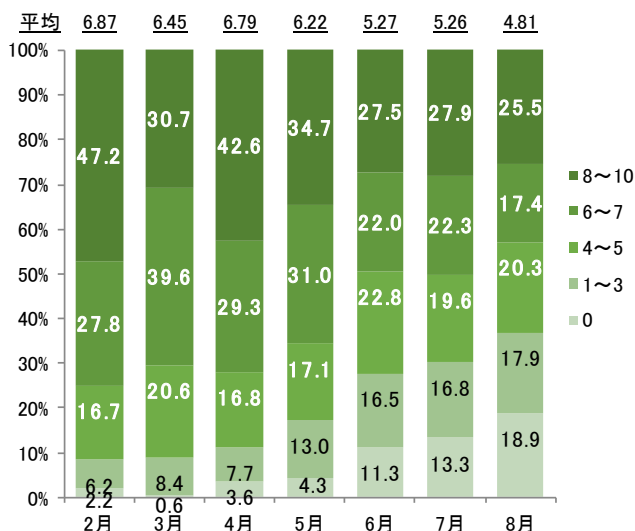
- 2016年卒学生の就職活動への気持ちの高まりを「0～10」の11段階で学生の尋ねた結果、その平均値が最も高かったのは3月(6.53)で、「6」以上と回答した学生の割合は73.1%であった。
4月以降、高まり度の平均値は徐々に下がり、8月は4.89であった。また「6」以上と回答した学生の割合は44.3%であった。
- 内定取得の有無別に見ると、「内定取得者」は2月の値が高く、8月が低かった。
気持ちの高まりの理由について、「内定取得の有無」「気持ちの高まり」別に学生のコメントを紹介する。

■「就職活動」に対する気持ちの高まり度(5分類)の推移 (就職志望者/単一回答)

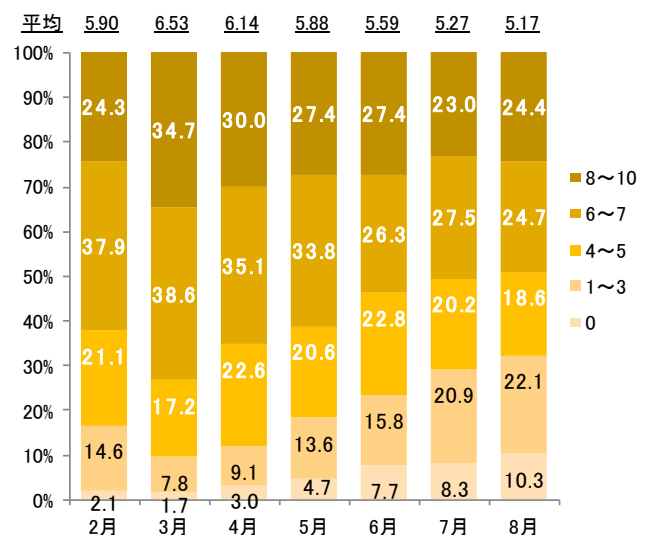
□全体



□内定取得者



□内定未取得者



内定取得で、気持ちの高まり度「8～10」の学生のコメント

- 最初は、最終面接を受けた企業から不採用を貰って落ち込んでいたが、そこから切り替えて色々な企業を見ることができた。(文系・5月調査・「8」)
- 説明会に行くことで就職活動に対するやる気が高まるし、様々な会社を訪問できるのは今しかない機会なので楽しむことができているから。また、気が重いと感じていた面接も、手応えを感じたり実際に次の選考に進めたりすることで自信に繋がっているから。(文系・5月調査・「9」)
- いよいよ第一志望の企業の最終面接だったので、とても高まっていた。(文系・8月調査・「8」)
- 最終面接の日程を案内される企業が増えた。一方で志望度の低い会社へのエントリーをやめ、日程的には余裕を持てるようになった。(文系・8月調査・「8」)
- 入社先を確定するか、まだ第一志望群の選考が残っていたので、辞退してそちらを受けるか迷ったから。(文系・8月調査・「9」)

内定取得で、気持ちの高まり度「0～3」の学生のコメント

- 内定をもらっている会社よりも、特に入りたいと思える会社を見つけられていないから。(文系・8月調査・「1」)
- 内々定をいただいて就職活動に対するやる気がなくなったから。(文系・6月調査・「1」)
- 研究室に追われ、ろくに就職活動ができない状態が続いている。(文系・5月調査・「3」)
- 内々定を獲得し、気が緩んでしまった。(文系・6月調査・「3」)
- 業界的に5月に選考開始が集中しており、とにかくアタフタしてしまい、ゆっくり考える時間がなかった。(文系・6月調査・「3」)

内定未所得で、気持ちの高まり度「8～10」の学生のコメント

- 初めは不安しかなかったが、いざ説明会や選考が始まり行ってみると大変勉強になり、経験にもなり楽しいと感じるようになった。(文系・4月調査・「10」)
- 今まではあくまで公務員の滑り止めとしての位置づけで就活を行ってきたが、様々な企業を見て回中で自分がやってみたい・楽しそうだと思う企業がいくつかあり、本気で取り組もうという気になった。(文系・5月調査・「10」)
- セミナーも座談会形式のものが増えてきて、自分が社会で働くイメージが少しずつクリアになっているのを感じる。本社や工場に見学に行き、働く場所も含めた理解が深まっている。(文系・6月調査・「10」)
- ここで働きたいと思える会社に出会え、その企業の選考に進んでいる。(文系・6月調査・「10」)
- いよいよ面接が始まり、企業からの反応が実感できているので気持ちが高まっている。(理系・8月調査・「10」)

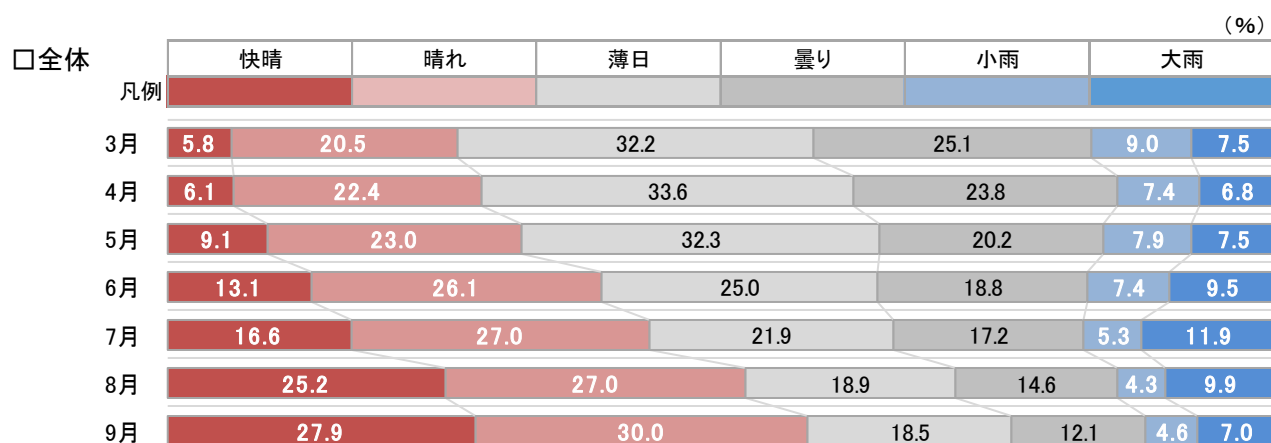
内定未所得で、気持ちの高まり度「0～3」の学生のコメント

- とりあえず周りの流れに合わせて就活をしているから。(文系・4月調査・「1」)
- エントリーシートは順調に通っていたのに、面接になってから上手くいかず、自信とモチベーションが無くなったから。(文系・5月調査・「3」)
- 学業を優先したからあまり身が入らなかった。(理系・5月調査・「2」)
- 不採用が続き、就職活動に対しての意欲が低迷している。(文系・6月調査・「2」)
- 選考が進むにあたり、お祈りメールの数も増え、また学業面も忙しくなり精神的に辛くなってきたから。(文系・6月調査・「3」)
- 3月から就職活動を続けているが、いまだに企業から内定をもらっていないため。就職活動がうまく進んでいないので、つまらなく、面倒になってきたため。(理系・8月調査・「2」)

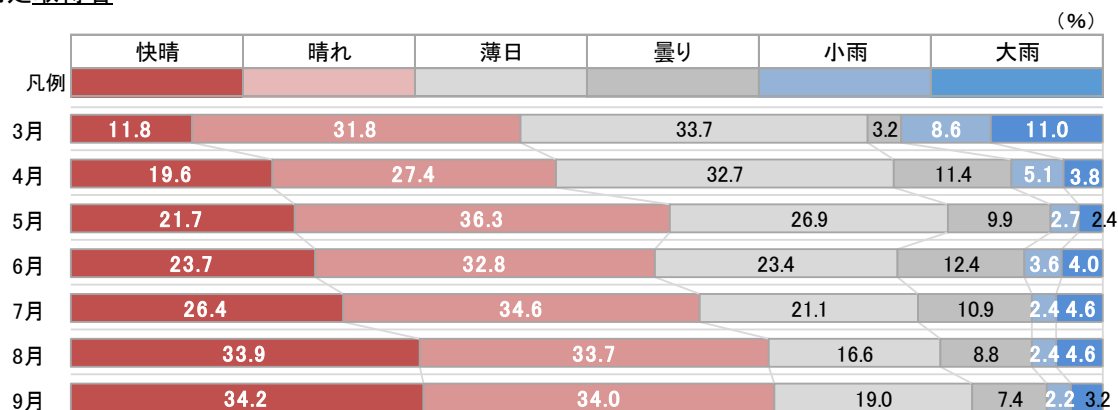
【2】「就職活動」に対する心情の天気模様(次月の見通し)

- 2016年卒学生の、「就職活動」に対する心情の天気模様(次月の見通し)を尋ねると、下記グラフのような結果となった。3月から9月に向けて「快晴」は5.8%から27.9%と増加している。「大雨」は7月の見通しのみ1割を超えたが、全体には1割以下であった。「薄日」(32.2%⇒18.5%)、「曇り」(25.1%⇒12.1%)は徐々に減少した。
 - 内定取得の有無別に見ると、内定取得者の方が天気が良い傾向が見られるが、「内定取得者で見通しが悪い」「内定未取得で見通しが良い」学生も存在する。
- 次ページに見通しの理由について、「内定取得の有無」「天気の良い・悪い」別に学生のコメントを紹介する。

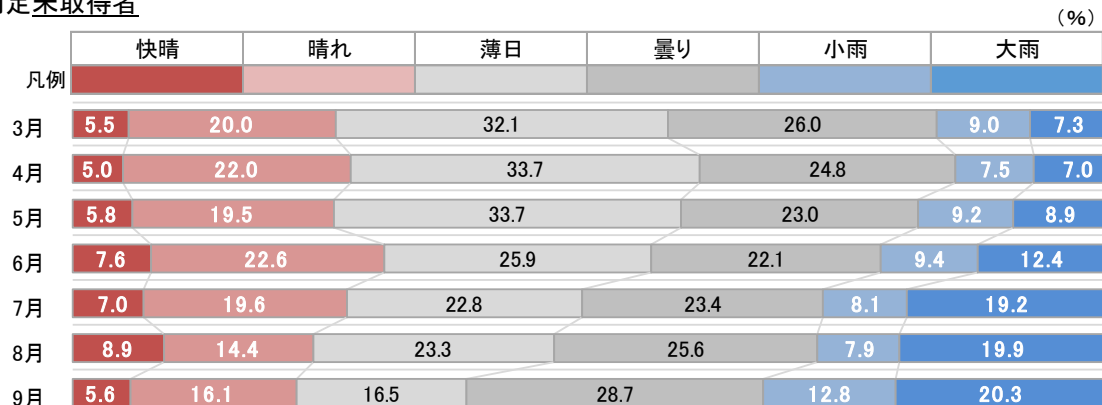
■「就職活動」に対する心情の天気模様_次月の見通し(就職志望者/単一回答)



□内定取得者



□内定未取得者



内定取得で、「快晴」「晴れ」の学生のコメント

- 既に内々定をいただいている企業があり、余裕を持って就職活動に取り組めると思うから。(文系・4月調査・晴れ)
- 自分自身の理解、企業の事業内容に対する理解が深まり、自分の言葉で伝えられる力がついているはずだから。(文系・4月調査・晴れ)
- ESもある程度だし終えてさらに志望度の高い企業を絞りだせていると思うから。(文系・5月調査・晴れ)
- 大手企業の選考が近付いているので、モチベーションを高めておきたいから。(文系・6月調査・快晴)
- 今現在採用選考に参加している企業、官公庁から最終的な結果が出揃っている予定であり、良くも悪くも就職活動が終わっていることから快晴としました。(理系・8月調査・快晴)
- 8月中に就職活動を終え、現在内々定をいただいている企業か、現在選考中の企業のどちらかで働くことを決めているだろうから。(文系・8月調査・快晴)
- 民間企業ではすでに内定を頂いたため、残すは公務員試験のみ。公務員試験の勉強は行ってきたため自信はあるが少し不安。よって晴れ。(理系・8月調査・晴れ)

内定取得で、「大雨」「小雨」の学生のコメント

- 暑くなってくるので体力的にも今よりさらに厳しくなると思うし、第一志望群の中でも特に志望している企業や業界の選考結果がどんどん出てくるから。(文系・6月調査・小雨)
- 面接の予定が詰まって忙しくなりそうだから。卒業研究は全くできなくなりそう。(理系・7月調査・大雨)
- 選考が重なって受けたい企業を受けられない可能性が発生しそうだから。(文系・7月調査・小雨)
- 納得のいく企業から内定が得られず、いきたくもない企業に入社しなければならないという現実と直面していると思うため。(文系・8月調査・大雨)

内定未取得で、「快晴」「晴れ」の学生のコメント

- 自己分析や明確な将来のビジョンができ、どのような仕事に貢献でき、どんな働きかたをしたいかがはっきりしているように思うから。(文系・4月調査・晴れ)
- 願望もありますが、4月の面接で打ちのめされた分、どのように自分を表現すべきか明確になった気がします。修正して新しい気持ちで挑みたいと思います。(文系・5月調査・晴れ)
- 良い結果があまり出ていなくても、就職活動そのものに慣れたことで、面接に臨む気持ちの持ちようであったり、慣れからくる自信がついていると思うので、今ほど不安に駆られる毎日ではないと思います。(文系・6月調査・晴れ)
- 希望的観測も込みで。中小企業の選考で色々フィードバックを受け、キャリアセンターなどにも通って、自分のES、面接での応答を修正し磨きをかけているつもりなので、今後はうまくいくと思っている。(理系・7月調査・晴れ)

内定未取得で、「大雨」「小雨」の学生のコメント

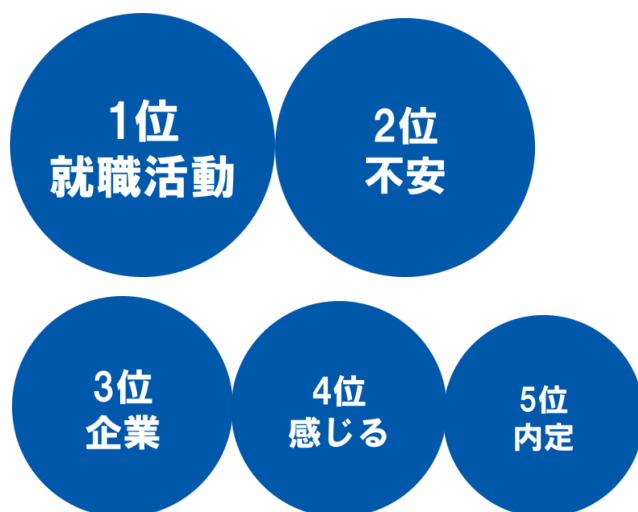
- まだまだ就活に慣れず、選考も増えて、落とされることも増えると思うからです。(理系・4月調査・小雨)
- 教育実習などもあり、期日に追われていそうだから。(文系・4月調査・小雨)
- 実際に落とされてから、自己分析の甘さや話せるエピソードの少なさに気付き、内定獲得の見通しが全く立っていない。(理系・4月調査・大雨)
- エントリーをやっている会社も無くなると思うので、持ち駒がなくなった瞬間に終わりだと思うから。(文系・7月調査・大雨)
- 8月中に内定を持っていなければ学業に影響があるので。(文系・8月調査・小雨)
- 時間が無くなりつつある中で、選考が進んでいるのかの見通しが立っていないため。(文系・8月調査・大雨)

【3】 学生コメント内でよく見られたキーワード

- 2016年卒学生が、「就職活動」や「卒業後の進路」について記入したフリーコメントの中の頻出キーワードは、「就職活動」が1位(2015年卒では3位)、「不安」が2位(2015年卒では1位)であった。
- 2016年卒と2015年卒で出現率が大きく異なるキーワードが存在し、その差分の大きいものはページ下図のようになった。

■ 頻出したキーワード 上位5件

《 2016年卒 》



《 2015年卒 》



※2016年卒の3～8月と2015年卒の3～7月の出現率合計を、およその面積で作図した。

■ 2015年卒と比べて、
2016年卒でよく見られたキーワード

時期
学業
学生
選考
分かる(否)
多い
つらい
楽しい
時間

■ 2016年卒と比べて、
2015年卒でよく見られたキーワード

不安
働く
内定
社会人
仕事
就職する
就職
就職先
決まる

ご使用に際しては必ず
株式会社リクルートキャリア 広報部 社外広報グループ
(kouho@waku-2.com)まで、ご一報ください。

就職みらい研究所とは

「就職みらい研究所」は株式会社リクルートキャリアの新卒事業本部内に設置されている「調査」「研究」「情報発信」を目的とした組織です。

「働く」の第一歩と言える就職の“今”と“未来”を掴んで広く発信し、よりよい就職・採用の在り方を模索する活動を推進することで、

ひとりでも多くの若者が前向きで力強い第一歩を踏み出せることを目指しています。

2015年9月28日 就職みらい研究所 Webサイトをリニューアルしました。

就職みらい研究所で実施している調査・研究などを、Webサイト上に掲載しています。今回のリニューアルは、ご利用者の皆様が求めている情報を「より見つけやすく」することを目指して改修を実施しました。右に、変更のポイントをご紹介します。

【1】 サイト上部のタブ(下図)から、サイト内コンテンツを探せる構造に

「調査結果」「就職白書」「研究報告」などのタブの上にカーソルをのせると、タブ内の情報が表示されます。見たい調査や、知りたい研究にダイレクトに到達できます。



【2】 フリーワード検索も充実

フリーワードでサイト内に情報を検索することが可能です。また、「キーワードから検索する」を押していただいて、頻出ワードなどで探すことも可能になりました。



【3】 旬の情報は、サイト上部でご紹介

新たな調査結果や研究報告はもちろん、今参考にしていただきたい旬な情報を、サイトの上部でご紹介していきます。



株式会社リクルートキャリア 就職みらい研究所 (http://data.recruitcareer.co.jp/) 所長 岡崎 仁美

【本件に関するお問い合わせ先】 株式会社リクルートキャリア 広報部 社外広報グループ宛 Mail : kouho@waku-2.com